1993
3
VOL.392

東北電力

特集　大きな課題達成に向かって
—広域運営を知ろう—



本店グリーンプラザのベビープール「コメット・キッズ」

表紙の写真は本店グリーンプラザのベビープール「コメット・キッズ」。クッキングスクールなどに参加されるお客さまのための託児室として，また子供図書館として使われ，お子さまがいらっしゃる方にとても好評です。モデルは広報部ＰＲセンターの佐藤裕子さん。



▲本店グリーンプラザ

各地のコミュニティースペース

～お客さまから愛される
広場づくりを目指して～



◀仙台南営業所



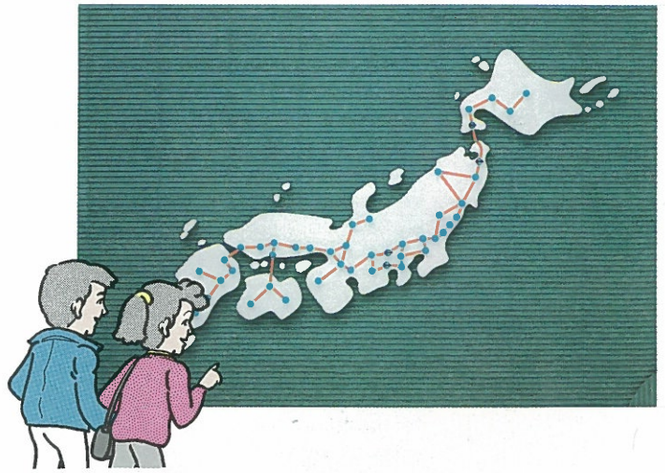
◀長岡営業所「らぷらす」



▲新潟グリーンプラザ

CONTENTS
1993-3
Number392

2 **特集** 大きな課題達成に向かって
―広域運営を知ろう―



◆PART１広域運営のあらまし
◆PART２こんな仕事をしています

12 マンスリーNEWS
19 シリーズ
CM制作の現場から③
23 新企画
職場たんけん日記
28 シリーズ
PAL奮闘記⑨ ～本店編～
30 GROUPウォッチング
株式会社ユアテック
32 トピックス
社内文書規格のＡ４化について
総務部法務課

34 掲示板
36 定年退職者の方のご紹介
～長い間ありがとうございました～
39 コーヒーブレイク
40 気ままにおしゃべり　FREE　TALKING
■平成５年１月　電力需給実績

特集

に向かって大きな課題達成

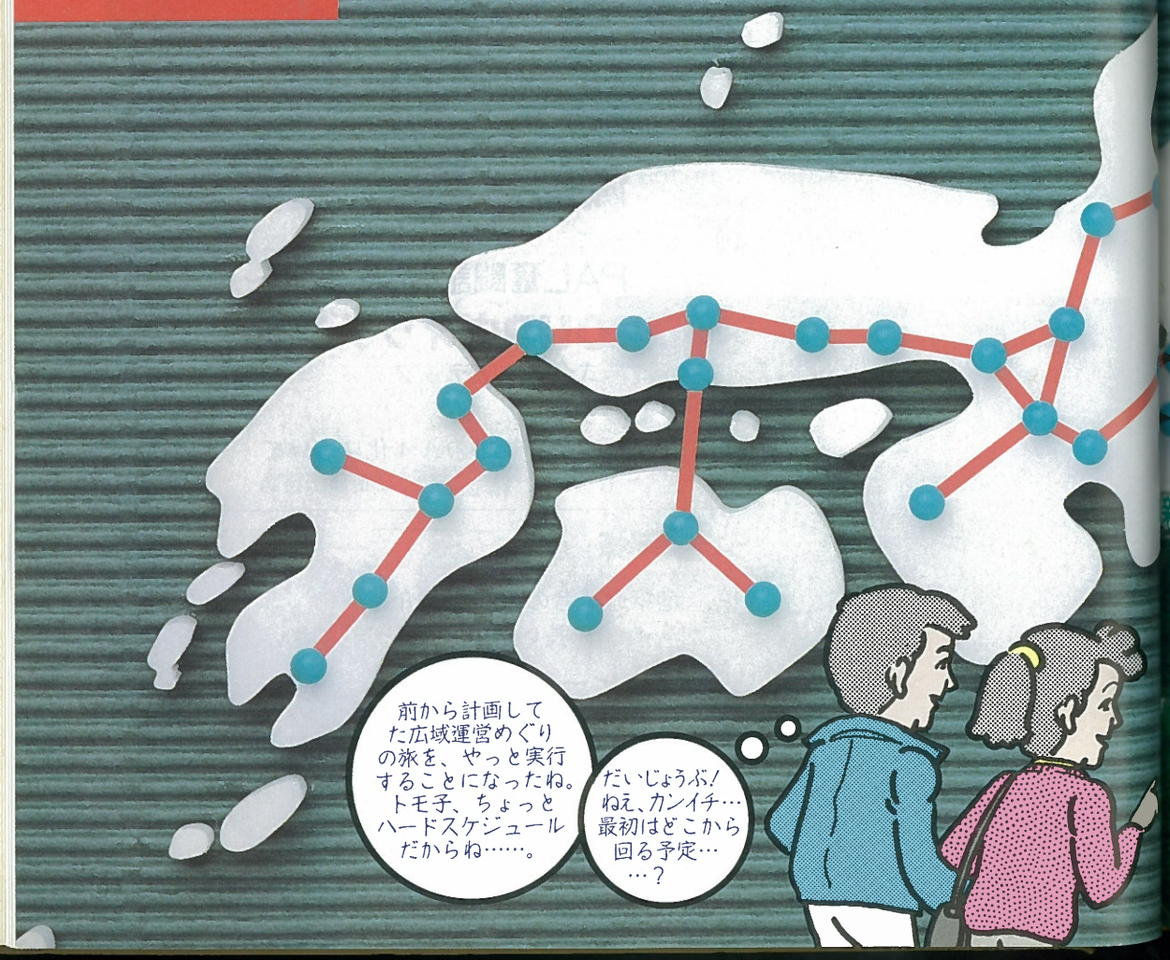
▶広域運営を知ろう◀

前月に引き続き、平成５年経営課題の力点「需要の安定を目指した電源開発・系統立地と広域運営の強力な推進」の中から今回は「広域運営」を取り上げます。

広域運営は、自主的な経営責任体制を維持しながら、各社間の緊密な連系による協調のもと、電源開発、送電連系、設備運用、電力融通、給電運用などを行って、電力の安定供給と供給コストの低減を図っていくものです。

今回は、社誌12月号の「プルトニウム講座」でみなさんにお目にかかった、カンイチさんとトモコさんにも登場していただき、この広域運営の意義や現在の当社の取り組み状況などをお伝えします。

広域運営、「聞いたことはあるけど、どんなこと？」と思っているあなた、難しそうなテーマだからといってページを飛ばさないでまずは読んでみてください。





北本直流幹線 1

1. 北海道と本州を結ぶわが国初の直流送電線「北本直流幹線」（電源開発）
2. 電源開発の上北変換所。ここで交流と直流が変換される。
3. 4. 5. 当社と東京電力を結ぶ重要な流通設備。写真上から、「南相馬変電所（東北電力）」、「いわき幹線（東北電力，27万5千V）」、「新福島変電所（東京電力）」



上北変換所 2



南相馬変電所 3



新福島変電所 5



いわき幹線 4

特集 PART 1

▶広域運営のあらまし◀

あゆみ

昭和26年５月，日本の電気事業は経営の効率化やお客さまへのサービス向上を目指して９電力会社に再編成され，発電から配電まで一貫した自主経営体制を確立しました。このころから隣接する会社相互間で電力融通契約を結んで協力し合うことは既に進められていました。

現在の広域運営体制が正式に発足したのは昭和33年で，９電力会社と電源開発㈱で構成されている「中央電力協議会」と，東地域，中地域，西地域の３地域（当初は北地域と合わせて４地域）の電力協議会を中心に各社が協力し合って活動を続けています。

発足後，昭和39年７月に新電気事業法がつくられた際には，この法律の大きな柱の一つとして，広域運営に関する規定が新たに設けられました。

40年代に入ると電力需要の急激な増大とこれに対応する膨大な電源開発の必要性，公害問題に関連して深刻化する電源立地など新しい問題が発生し，中央電力協議会では昭和43年７月に「広域運営の新展開の基本方針」を打ち出して，一次エネルギーの安定確保，大電源の採用とその立地，系統連系の強化などについて一層の協調をはかることになりました。

その後，昭和48年の第一次オイルショック以降，電気事業は一次エネルギーの確保，電源立地，資金調達などにおいて従来にない困難な課題に直面し，昭和50年に原子力を中心とした新たな電源開発，相互融通体制の確立を目指した「広域運営の拡大」の新方針が打ち出され，現在にいたっています。このように広域運営は時代の要求に応じて制度や体制も見直しがはかられながら大きく育ってきました。

電力融通とは？

広域運営というとよく耳にするのが「電力の融通」です。

会社相互間の電力の融通はどのようにして，何のために行われているのでしょう？

全国の電力会社は，供給力の不足や万一の設備事故の時には，安定供給の確保のために，電気の融通（やりとり）をしています。これによって，各社は供給予備力を節減したり，大容量の発電機を採用することによるスケールメリットを得たりしているのです。さらに，通常時にも比較的低コストで発電できる電気をやりとりしたり，お互いの設備を効率的に利用したりしながら，コストの低減にも努力しているのです。いわば，各社がお互いに協力し合って日本の電気事業全体としての経済性や安定供給を考えながら行っているのです。

各社との電気のやりとりは，電線でつながっている電力設備のネットワークである電力系統によって行われています。

このネットワークを通してお客さまのところに電気をお届けしているわけですが，これらがそれぞれの会社間の主なところで連系されています。中には，本州と九州，あるいは四国との間のように海を渡って送電線が延々と張られていたり，本州と北海道のように海底にケーブルが敷設されているところもあります。また，日本の東西が50ヘルツと60ヘルツに分かれているところでは，そのまま電気のやりとりができな



◀中国電力の新山口変電所と九州電力の北九州変電所を結ぶ50万Ｖの送電線「関門連系線」

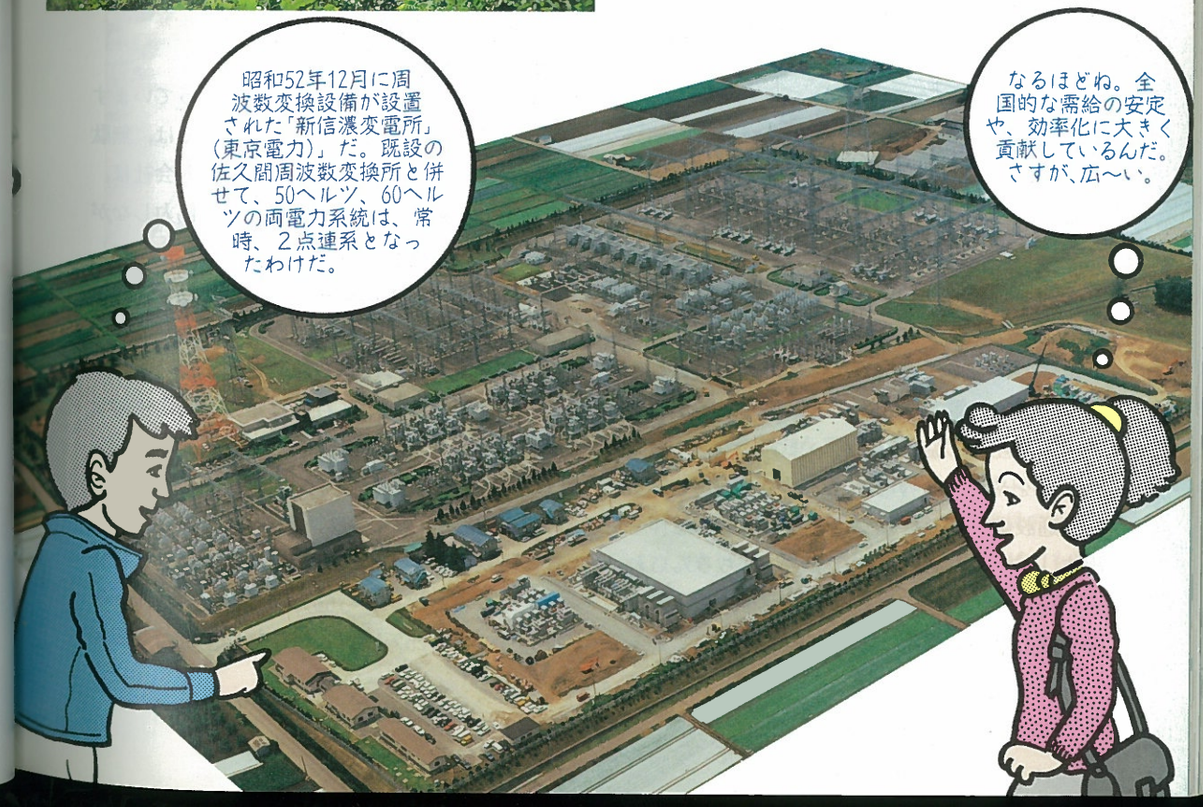
▼中国電力広島変電所と四国電力伊予変電所を結ぶ22万Ｖの送電線「中四幹線」



▼昭和40年に運転を開始した日本で最初の周波数変換所である「佐久間周波数変換所（電源開発）」



いことから，現在，電源開発㈱の佐久間周波数変換所と東京電力の新信濃変電所の２か所にある周波数変換装置で周波数が変換されて電気のやりとりがなされています。



特集 PART 1

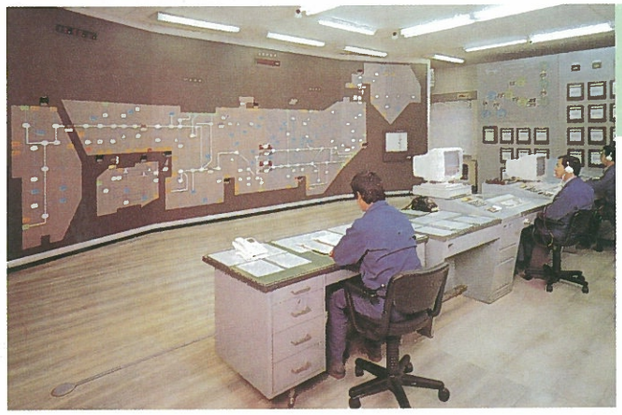
電力融通の種類

電力融通には大きく分けて「全国融通」と「二社間融通」の二つがあります。

まず，全国融通というのは，中央電力協議会の下部機関である中央給電連絡指令所（中給連），および各地域の給電連絡指令所を通して，広域運営を円滑に行う目的で締結された全国融通契約に従い９電力会社間で電気をやりとりするものです。中給連では，各社の中央給電指令所から毎日出される需給予想や融通希望に基づいて，どこからどこへ，どこを経由して，いつ，どのくらいの電気を送るかということを調整しています。

一方の「二社間融通」は，特定の２社が，お互いの設備を有効に利用する目的で，個別に結んだ契約に従い，定められた期間内で計画的に電気をやりとりするものです。

両者ともその目的によってさらに細かいメニューが設定されています。



◀電力会社同士で電気のやりとりを行う時の調整役である「中央給電連絡指令所」

広域運営のいろいろ

これまで広域運営の中の「電力融通」について説明してきましたが，電気事業における広域運営というのは，つくられた電気をやりとりするだけではなく，そのやりとりが少しでもしやすいように，電力を融通する以前の段階からも各社がお互いに協力をしています。

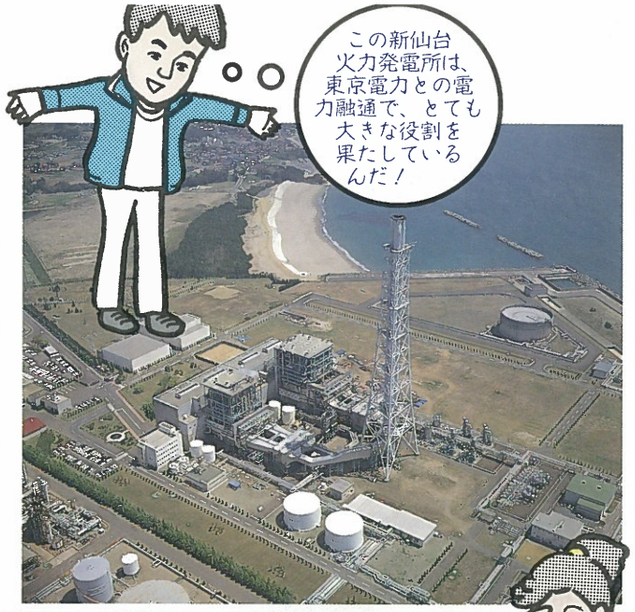
電気をやりとりするにはその通り道である「流通設備」や，そのやりとりするモノを作り出す「電源」も必要になります。もちろんこれらの設備は，各社それぞれに，毎年，中・長期を見通した需要想定にもとづいて作成している施設計画によって強化・充実をはかっていますが，これを各社が別々に作成していては，無駄が生じてしまいます。そこで，各電力会社は，これらの設備の計画段階から相互に協力しながら，技術的にも経済的にも無駄のないようにしています。電源・流通設備の開発や送電線の連系，そしてそれに伴う設備の運用や給電運用など，すべてを含んだ協力体制をとっているのです。こうすることで，各社は電力の安定供給をはかるとともに，経済性も高めています。

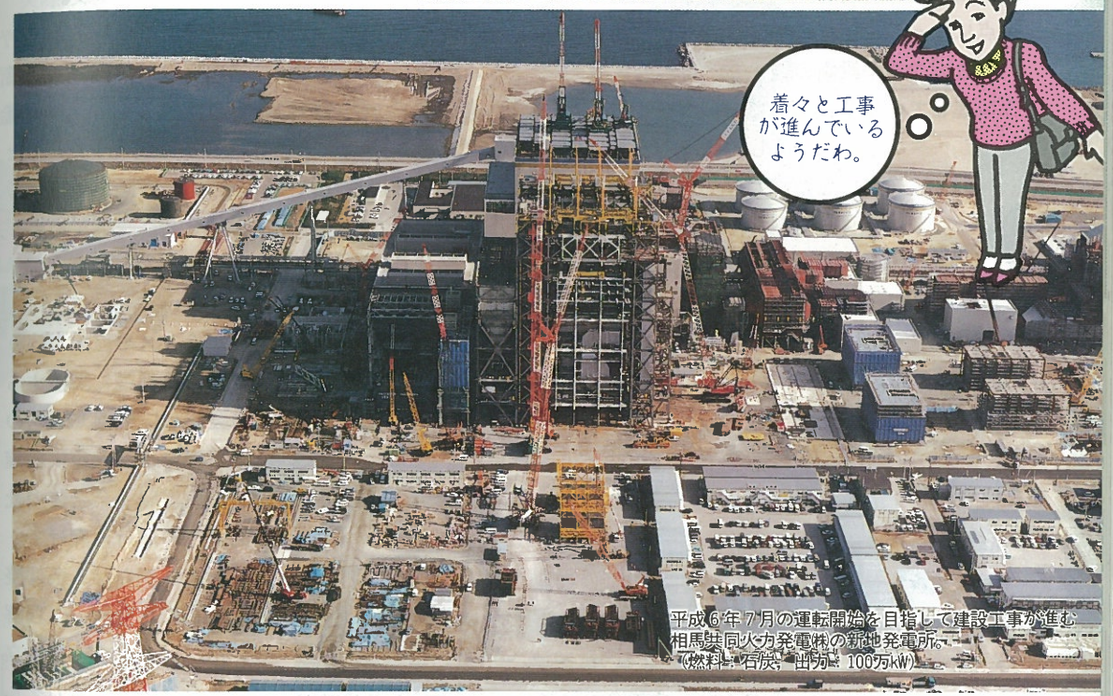
電源開発について例をいえば，昭和48年６月に運転を開始した当社の新仙台火力発電所２号機は当初35万kWの計画でしたが，総合的な経済性を追求する観点から60万kWに変更し，スケールアップ分の25万kWに対応する発生電力を東京

電力に融通しています。

また，当社と東京電力が共同出資して設立した相馬共同火力発電㈱が福島県の相馬中核工業団地内に新地火力発電所を建設中です。

広域運営としてはこの他，機器の標準化についても広域運営の課題の一つとして取り上げられ，各社が使用する機器，材料などの規格統一，標準化を進め，大量生産による資材費の低減と，資材の円滑な相互融通を図ってきています。





平成６年７月の運転開始を目指して建設工事が進む相馬共同火力発電㈱の新地発電所。（燃料：石炭，出力：100万kW）

こうした資材の標準化は，機器性能の向上（事故防止，実用性能の向上，保守軽減），試験検査などの合理化，品種限定による設備管理および資材管理の容易さなどの直接的な効果をあげるばかりでなく，災害時および平常時における資材の広域融通の対象品目がより一層拡大されるという効果も生んでいます。そして，この成果は一昨年の秋に発生した台風19号による被害の時，各電力会社から直ちに資材や要員の応援が行われ，復旧のため協力したことなどにも表れているのです。

特集 PART 1

広域運営のこれから

電気事業を取り巻く環境が一層厳しさを増す中，電気事業は将来にわたってその社会的使命を達成するため，今後の情勢変化に柔軟に対応しつつ，経営の一層の効率化を推進し電力の安定供給，品質の向上およびコストの低減に積極的に努めなければなりません。

このような情勢認識のもとに広域運営を通じ電気事業全体としての総合効率をさらに高め，各社相互間の一層の協調をはかりつつ，長期的視点にたって，相互応援融通の拡大を図るための各社間の連系設備の強化と，電源の広域開発を推進していくこととしています。

当社としては，昭和55年12月に東京電力と合意した「広域運営の新展開」以降，電力の安定供給と電力供給原価の高騰抑制をはかるため，東京電力との間で着実な成果をあげてきました。今後，前述の新地地点や東通地点の開発推進，東京電力との新たな連系線として50万Ｖの相馬双葉幹線の新設などを進め，設備の強化・充実をはかり，首都圏を中心とした全国的な電力需要の顕著な伸びと電源立地の制約を踏まえ，地域を越えて電力の安定供給に可能なかぎり協力するため，広域運営を積極的に推進していくことにしています。

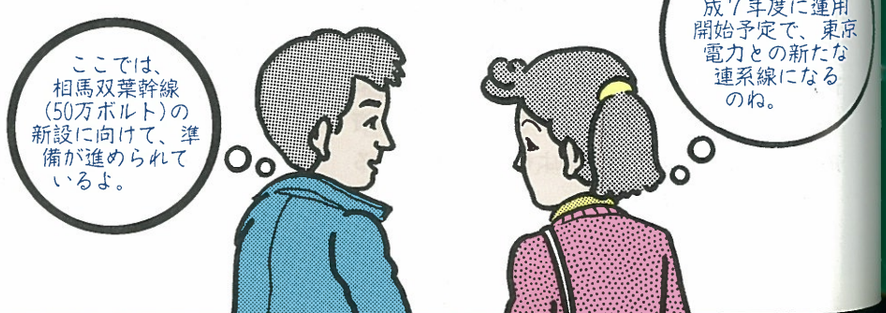
今後の電力の需給安定化策については，昨年の６月11日に，通産大臣の諮問機関である電気事業審議会・需給部会の「電力基本問題検討小委員会」が地域共生型発電所建設の提唱や広域運営の推進について取りまとめています。

報告の中で広域運営の推進にかかわるポイントの一つとして，電源開発㈱などの卸電気事業者になお一層の努力を求めるとともに，一般電気事業者による融通型電源開発を進めていくため，広域運営への貢献を適切に評価するとの考え方のもと，送電側に十分なメリットがある形で融通条件を設定する必要があるとの考えが示されています。

電力需給の地域間アンバランスの拡大という状況の中で，当社の場合，特に首都圏に隣接する電力会社として，広域運営の拡大推進による安定供給確保という電気事業全体の社会的責任の遂行に向けて，立地促進につながる条件整備のもとに，地域のご理解をいただけるような電源立地の推進に一層の努力をしていく必要があります。



◀「相双地区基幹送電線立地事務所」と「送変電建設センター・原町工事所」の社屋



特集 PART 2

こんな仕事をしています

営業部・需給課　大森　聡さん

ＰＡＲＴ２では，当社で実際に広域運営に携わっている部門の中から営業部と技術部の担当の方に登場していただき，その仕事の内容を伺ってみました。

◆まず、大森さんがかかわっている仕事の概要からお聞かせください。

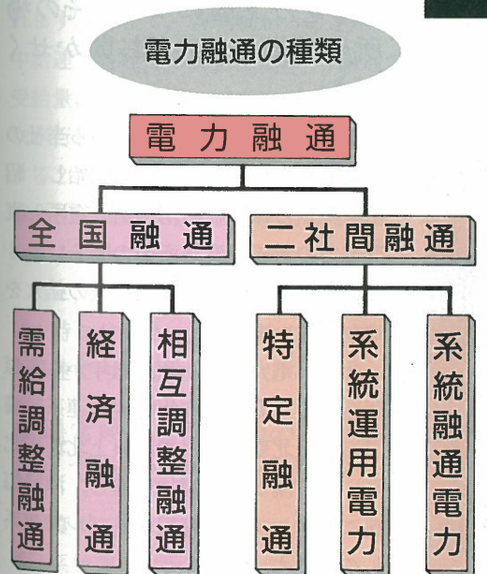
簡単に言えば，融通する電力料金を他社と協議のうえ契約する仕事をしています。

実際の融通料金については，供給力や需給条件によって違うので，一概に言えませんが，電力需給の安定化と料金コストの低減を目的とする広域運営の共益思想を前提に，受給両者の協議，電気事業法に基づく認可を経たうえで決定されることになっています。

◆電力融通の種類も「全国融通」と「二社間融通」がありますが、契約される種類にはどのようなものがあるのでしょうか。

おっしゃられる通り，電力融通には大きく分けて「全国融通」と「二社間融通」の二つがありますが，どちらもその目的によってさらに下の図のような種類があります。





まず，「全国融通」は，「需給調整融通」「経済融通」「相互調整融通」の三つに分けられます。

需給調整融通は，突発的な原因で供給力が不足した時，または近い将来供給力の不足が予測される時に送電を受けるもので，日常運用の中で随時的に行われるものと，あらかじめ条件を定めて計画的に行われるものとがあります。

経済融通は，需給調整融通とは違って比較的発電コストの低い水力発電所の発電能力に余裕がある時や，深夜や休日の需要が少ない時間に，高出水により水力発電の余力を消化する必要がある場合などにその電気を全国レベルで効率的に使っていこうというものです。

◆電気を受け取る会社では、自分の会社の運転費の高い発電機の出力を抑えて、全国的に見てムダが生じないようにこの電気を使うというわけですね。

ええ，全国レベルでの総合運転費を削減することで，資源の有効活用をはかっているわけです。

相互調整融通は，電力会社間の需要のピーク時間帯のずれによって生じた余力を活用した融通や，送電線の作業停止時などに他の会社から受電して供給信頼度の確保をはかるための融通電力のことです。現在は，ピーク時間帯というのは各社ほとんど一緒ですから前者はあまり行われていませんが，後者の方は信頼度確保のために行われています。

◆次に二社間融通ですが、こちらも(前ページの図をみると)三つの種類に分けられるようですが。

二社間融通は，あらかじめ特定の２社の間だけで結ばれている契約にのっとって行われます。

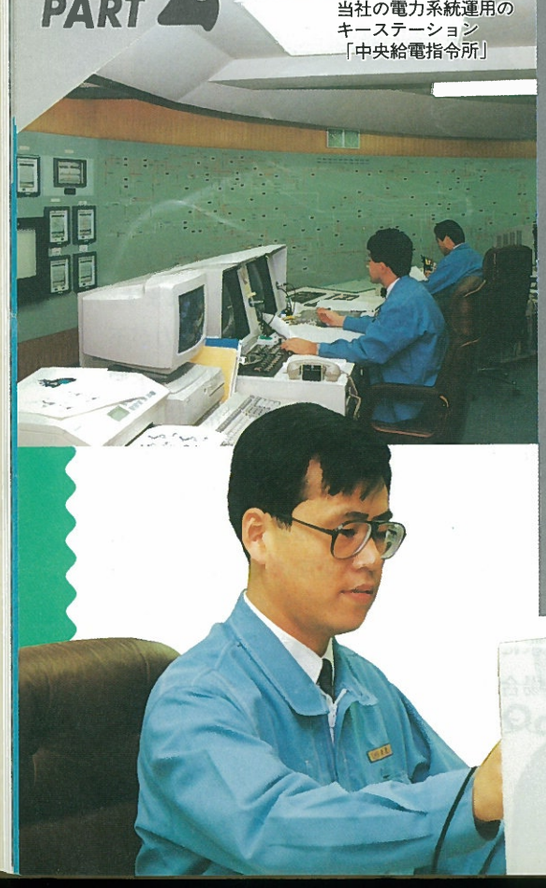
特定融通とは，特定電源または特定地域の需要を対象に受給される電力およびその他広域運営を目的として長期にわたり，計画的に受給される電力のことです。

系統運用電力は，隣接する会社との電力設備の有効利用を図るために受給される電力で，この融通は原則として，両社の需給バランスに支障を与えないように同時に同じ量をやりとりすることになっています。

もう一つの系統融通電力は，受給の意志にかかわらず，系統を連系運用しているためにやむを得ず受給される電力のことです。

特集 PART 2

こんな仕事をしています



当社の電力系統運用のキーステーション「中央給電指令所」

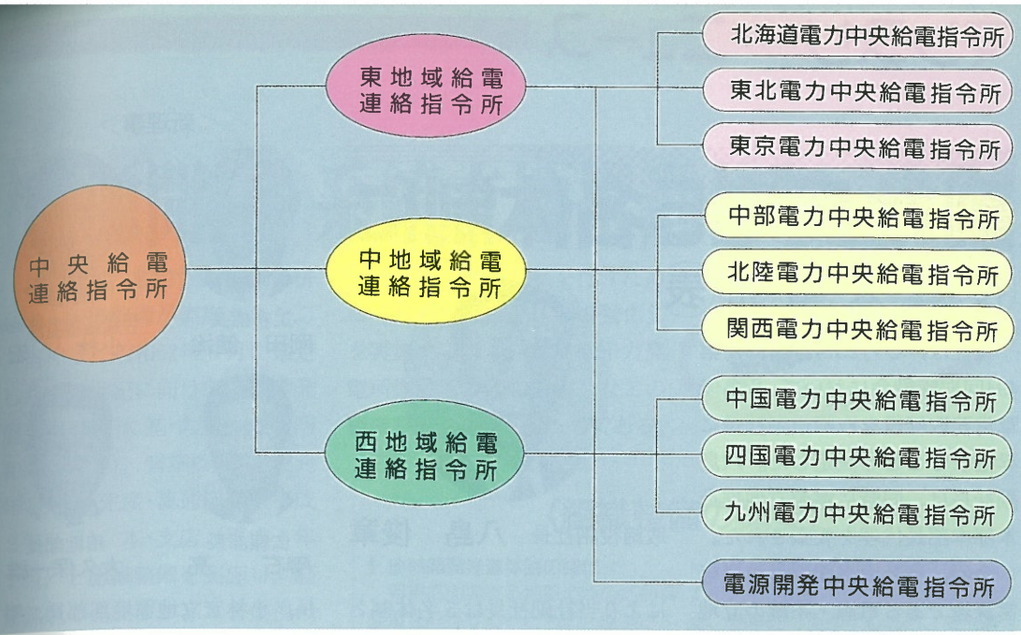
技術部・中央給電指令所　桑折（こおり）孝行さん



◆当社と他社とがつながっている電力系統について、その場所や特徴についてお聞かせください。

東京電力とは，昭和34年から当社の本名変電所において連系を開始し，昭和51年からは当社の南相馬変電所と東京電力の新福島変電所との間をいわき幹線で連系を行い，連系容量の拡大をはかっています。

北海道電力とは，昭和54年から電源開発㈱の北海道・本州間電力連系設備である上北変換所（青森県上北郡東北町）で交流から直流に変換し，津軽海峡に敷設している海底ケーブルで連系しています。



この北海道との連系によって，北海道から九州までの全国一貫した連系系統が誕生したわけです。

◆桑折さんは、他社からの要請で電気を送ったり、逆に電気を受けることもあると思いますが、実際にはどんなやりとりがされているのですか。

実際に融通の受給を行う場合には，送電，受電希望の申し出が地域給電連絡所を通して行われます。そして，各地域からの連絡をもとに，中給連で各社との調整をはかり，融通受給会社，受給量，受給時間などを決定して電力のやりとりが行われます。この際には，送電そして受電する２社だけではなく，その２社の間にある中継会社と調整がなされて，初めて融通受給が行われるわけです。

特に，夏場などの需要の急増時や電源のトラブル時などには，安定供給の確保のために，より迅速で的確な対応が求められます。

◆通常時にも各社間の電力融通は行われていると聞いていますが。

年度当初の計画によって決められた特定融通，系統運用電力などの受給のほかに，随時，各社の需給状況によって経済融通電力の受給が行われています。また，需給がひっ迫している東京電力，中部電力に対して各社からの応援融通も常時行われています。

◆融通電力量は全部でどの位になるのでしょうか。

平成３年度の全国大での総融通電力量は715億kWhで，このうち，当社の融通電力量は207億kWhと約３割を占め，この約99％が東京電力との融通になっています。また，４年度は200億kWh程度と，ほぼ３年度並みの融通量になる見込みです。

◆桑折さんがこの仕事を通して特に配慮していることはありますか。

融通電力を安定して送電するため，電源や流通設備の的確な運用に努めてきましたが，今後，当社から東京への融通送電や，北海道から東京への融通の中継も増加することが予想されることから，これまで以上に電力系統の安定運用に努力していきたいと思っています。



副社長を5名体制に

役員人事発表



取締役副社長　八島　俊章

当社は，２月23日行われた第494回取締役会において，八島俊章常務取締役を取締役副社長に昇格することを決定した。八島副社長は，同時に電源立地推進本部本部長代理を委嘱された。

今回，当社の当面の最重要経営課題である電源・系統の立地および建設計画を早急に進めるべく，同日，発令された。これにより当社副社長は５名体制となる。

また，新たに岡田健治工務部長，小林宏立地環境部部長，雫石亮広報部長，大久保一雄用地部長の４名が理事に任用された。

＜新理事＞



工務部長
岡田　健治



電源立地推進本部
立地環境部部付
小林　　宏



広報部長
雫石　　亮



用地部長
大久保一雄

竜飛ウィンドパーク増設
PR館も設置

当社は，青森県三厩村竜飛地区にある「竜飛ウインドパーク」の風力発電設備を現在の５台から10台に増設することとした。

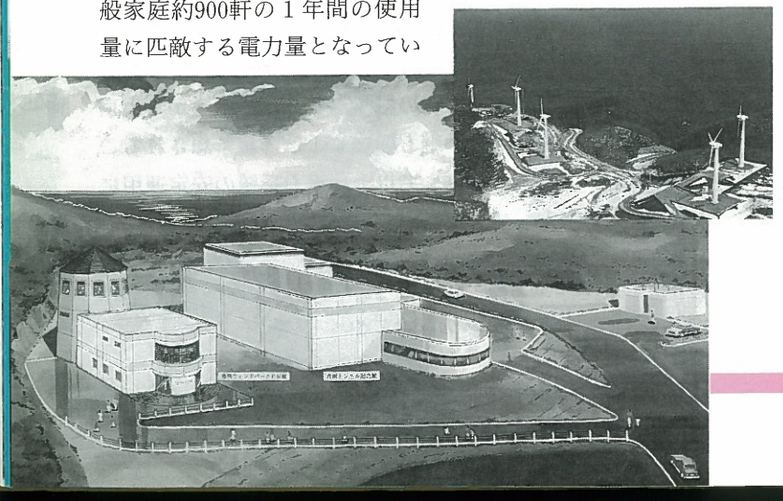
これまで，同地に275kWの風力発電機５台を設置し，平成４年３月から本格的な実証実験を開始している。設備利用率も年平均約20％と順調な実績となっており，風の強い12月には最大39％の設備利用率を記録した。平成４年１月から12月まで（調整運転期間を含む）の間に発電した電力量は約250万kWhと，一般家庭約900軒の１年間の使用量に匹敵する電力量となっているなど，現在も順調に運転が継続され，各種試験を通じて発電特性などに関する貴重なデータが得られている。

こうした中で，当社は先般策定した「地球環境行動計画」の中でも新エネルギーの実用化に向けた研究開発をさらに拡大する方向を打ち出しており，さらに風力発電設備を５台増設することとし，併せて，10台，総発電容量2,750kWの規模とすることとしたものである。

今回増設する風力発電機については，平成７年度に建設，８年度から実証試験を開始する予定としている。

また，竜飛を訪れる方への風力発電やエネルギー全般に関する情報提供の場として「竜飛ウインドパークＰＲ館」を設置することとした。

同ＰＲ館は，吹きつけるシベリアからの季節風に向かって力強くそびえ立つ多角形の「風の塔」をシンボルに展示ホール，ロビーを一体化した３階建ての建物とすることとし，今年４月に着工，８月のねぶた祭りの季節にオープンする予定としている。



電源開発・系統立地推進体制を強化

組織整備実施

２月23日，臨時異動発令に併せて，組織整備が実施された。

当社は，昭和62年６月に策定した「21世紀に向けての経営発展基本構想」に基づき，本店（昭和63年２月），営業機関（平成元年２月），生産・流通機関（平成２年２月），本・支店（平成４年７月）と組織整備を実施し，経営課題の達成とお客さま重視の姿勢に立った業務推進体制を構築してきた。

しかしながら，昨今の当社を取り巻く経営環境を見ると，電源・系統立地の着実な推進，エネルギーの有効利用推進などがこれまで以上に重要な課題となって浮上している。

このような課題を踏まえ，今回は，既設・開発中の地熱発電所の計画・運用と新規地点の地熱資源量の評価などを行うために「地熱開発推進体制の強化」を実施するほか，「女川原子力発電所建設所体制の整備」などの組織整備を実施したものである。

〈組織整備の概要〉

1.地熱開発推進体制の強化
新規に開発する地熱地点の地熱資源量を評価するとともに、既設および開発中の地熱発電所の蒸気発生に関する技術的対応を行うなど地熱開発推進体制を強化するため、本店火力部の内部組織として「地熱開発課」を設置した。

2.柳津西山地熱発電所建設所の設置
平成5年6月着工予定の柳津西山地熱発電所（出力6万5,000kW）の建設工事を効率的に推進するため、本店の直轄機関として「柳津西山地熱発電所建設所」を設置した。

3.女川原子力発電所建設所体制の整備
平成7年7月営業運転開始予定の女川原子力発電所2号機（沸騰水型、出力82万5,000kW）の試運転業務を的確、効率的に実施するため、女川原子力発電所建設所の内部組織として「発電準備課」および「放射線管理課」を設置した。

4.新潟地区基幹送電線立地推進体制の整備
新潟県内における超高圧送電線等建設の円滑な推進のために、新潟支店の直轄業務機関として「新潟地区基幹送電線立地事務所」を設置した。

5.実川発電所建設所の廃止
昨年11月に運転開始した実川発電所（水力、出力8,200kW）の建設工事が終了したことから、実川発電所建設所を廃止した。

五十沢第二発電所営業運転開始

２月26日，五十沢（いかざわ）第二発電所（ダム式，出力9,100kW）が，東北通商産業局の使用前検査に合格し，営業運転を開始した。

同発電所は，新潟県南魚沼地区の発展に伴う都市用水の需要増加や豊富な水資源の有効利用，さらに電力需要の増加に対応した電源開発を目的として，建設省が信濃川水系三国川に建設する三国川ダムに，発電参加したダム式発電所。最大使用水量10.00m³／ｓを取水し，有効落差107.70mから最大出力9,100kWを発電するもので，平成元年９月に着工した。

本発電所は，建設省が設ける三国川ダム管理用発電所と隣接して建設することから，取水設備，水圧管路の一部を共用することとしている。

また，発電所建屋は地下埋設型とするなど，冬場の厳しい自然条件や周辺環境との調和に配慮したものとなっている。

五十沢第二発電所の営業運転開始により，当社の水力発電所は216か所，発生電力合計では約243万6,000kWとなった。



ハイブリット電気自動車
「WAVE」の開発決定
新型のニッケル一水素電池を搭載!

当社は，主動力源としての蓄電池に加えて，補助動力源として小型エンジンと発電機を搭載したハイブリッド電気自動車「ＷＡＶＥ」を開発することとした。

当社ではこれまで，環境保全やエネルギーの効率利用をはかるため，国内外の電気自動車の導入や新型電池の研究開発，さらには東北の気候特性を踏まえた寒冷地向けの電気自動車「ＭＹＬＤ」の開発など，電気自動車の実用化に向けた研究開発に積極的に取り組んできた。

こうした中，「ＭＹＬＤ」の研究成果を反映しつつ，さらに実用化に近い電気自動車の開発に乗り出すこととした。

東北地域は全般的に山間地が多いことから，単位距離あたりの走行エネルギーが多くなり，結果して一充電走行距離が短くなる傾向がある。

そこで，こうした地域条件を踏まえ，市街地を走行する時は主動力源の蓄電池で走行し，山道走行時や電池の容量不足などの緊急時には補助動力源としてのエンジンで駆動された発電機により，電気エネルギーを補給して走行するハイブリッド電気自動車を開発することとした。

また，今回のハイブリッド型電気自動車には，当社がこれまで古河電池㈱と共同で開発を進めて来たニッケル一水素電池を搭載することとしている。

ニッケル一水素電池は現段階においてはコストが高いという欠点はあるものの，従来の鉛蓄電池に比べて，エネルギー密度や低温特性などの性能に優れ，一充電あたりの走行距離もかなり向上させることができる。

今回の開発にあたっては，「ＭＹＬＤ」の開発と同様，㈱ＫＭ中央研究所や㈱日立製作所，北日本電線㈱との共同開発とし，今年10月に開催予定の東京モーターショウへの出展を目指して製作することとしている。

ハイブリッド型電気自動車「WAVE」の概要

1. 主要諸元
- ●乗車定員　4名
- ●寸法、重量　全　長:4.60m
  全　幅:1.69m
  全　高:1.35m
  車両重量:1,500kg
- ●性能　最高速度:90～100km/ｈ程度
  一充電走行距離 主動力(蓄電池):120km程度
  (将来的には200km程度)
  補助動力:100km程度
- ●主動力　ニッケル一水素蓄電池20個
- ●補助動力　340cc4サイクルエンジン1台
  発電機（4.5ｋＶＡ）1台
- ●充電器　車載型
- ●補助動力起動方式:搭載蓄電池の電圧低下による補充電方式

3件13名に社長表彰

〈受賞件名ならびに受賞者〉

種別	件名	受賞者 所属(グループ名)	受賞者 氏名
技術開発	低圧バイパスケーブル工法の開発・実用化	配電部　配電計画課 塩釜営業所　配電計画課長 仙台営業所　技術二係長	菊池　智丈 引地　武夫 平塚　啓
技術開発 社名高揚	東新潟火力発電所ガスタービン燃焼用空気冷却装置の開発について	東新潟火力発電所 ガスタービン吸気口水噴霧グループ(6名)	菅原道雄　佐藤常夫 女鹿　学　佐貝源一 山田　昇　坂井拡正
業務改善提案 （秀賞）	新潟火力発電所3号ガスバーナーの運用改善について	新潟火力発電所 技術課ボイラーグループ (4名)	円山政秀　橋本英雄 藤内信一　吉田定和



２月23日，本店において社長表彰が行われた。

今回表彰対象となったのは，技術開発２件９名と，業務改善提案１件４名の方々で，明間社長から代表一人ひとりに賞状と楯が手渡された。

あいさつに立った明間社長は，「今回の表彰は，配電部門１件，火力部門２件となっている。

いずれも一人ひとりの日常業務に根ざした熱心な創意・工夫の積み重ねがグループ全体としての大きな成果に結びついたものである。淘汰のないところに進化はなく，進化とは創造することの積み重ねである。まさにみなさん一人ひとりの創意・工夫こそが『淘汰のもつ創造的な力』であり，当社の進化に不可欠な力である。

本日の受賞を機会にさらに知恵と意欲と情熱を結集して，一層の努力を重ねることを期待する」とお祝いの言葉を述べた。

第89回 永年勤続者感謝状贈呈式が行われる



◀明間社長より代表者に感謝状が贈られた

３月２日，仙台市内のホテルにおいて第89回永年勤続者感謝状贈呈式が行われた。

今回は今年４月から９月までに定年を迎えられる社員とその配偶者102名の方々に対し，感謝状と記念品が贈られた。

国歌斉唱に続いてあいさつに立った明間社長は，昭和から平成という激動の時代を振り返り，人生の大半を電気事業一筋に捧げられ当社ひいては東北地域の発展に力を尽くされたご努力と，人生の伴侶として苦楽を共にしてこられた奥さまやご主人に謝意を述べた。そして，21世紀を迎える中で，さまざまな困難な課題に直面していることに触れ，「このような厳しい状況のなか，豊富な知識と経験をお持ちのみなさんをお送りするのは残念でならない。後を引き継ぐ者として，皆さんが築き上げてきた輝かしい歴史の中から数々の教訓を学び，これからの厳しい時代を確かな足取りで歩んでいかなければならない」と述べた。最後に80歳で相模・伊豆を手中にし戦国有数の大名となり小田原北条５代の礎を築いた北条長氏の人生観を紹介しながら，「人生には定年というものはなく，みなさんにはいつまでも夢を持ち挑戦し続けていただきたい。そして，若々しい感性を絶やすことなく，これからの新たな人生を楽しく，力強く歩み続けていただきたい」と招待者を激励した。

これに対し，永年勤続者を代表して青山正彦さん（本店企画部付東北経済連合会出向）が，「今後は，青春の心を失うことなく，電気事業と地域社会とのかけ橋となるよう力を尽くしたい」と謝辞を述べた。

この後，社長招待の懇親パーティーが行われ，出席者は和やかなひとときを過ごした。

「仙台南営業所」新設開店

3月1日，当社は，仙台市若林区に「仙台南営業所」を新設開店した。同営業所は，急速に発展を遂げる仙台広域経済圏の南部における拠点として，現在の仙台営業所エリアを二つに分割し，契約口数は18万6,500口(平成4年12月現在）となる。敷地面積は5,509.76㎡，地下2階，地上7階建て，延べ面積は10,397.70㎡。1階には地域住民とのふれあいの場としてのコミュニティープラザを開設した。コミュニティプラザは，ミニコンサートのできるコミュニティーゾーン，ギャラリーゾーン，オール電化のクッキングスタジオなど，それぞれゆとりとくつろぎのある空間に，数多くのサービス機能を備えたものとなっている。



また，設備面では，オール電化のモデルオフィスとして，夜間電力を利用した氷蓄熱方式による空調システムを取り入れているほか，地下2階には，常圧リン酸型燃料電池を使った燃料電池システム（出力100kW：50kW×2台）を設置し，新エネルギーの実用化に向けて研究開発を行っていくこととしている。

また，3月10日には関係者が出席し竣工式が行われ，工事の無事終了を感謝し，今後のますますのお客さまとのふれあいを祈願した。

'92電気温水器わくわくキャンペーン
大きな成果をあげて終了

昨年10月から12月の3か月間にわたり電気温水器普及会(メーカー11社と東北電力で構成)，電力ライフ・クリエイト，電気温水器サービス店が推進団体となり実施した「'92電気温水器わくわくキャンペーン」は，大きな成果をあげて終了した。

今回で9回目を迎える同キャンペーンは，他熱源からの買い替えとおよび新築のお客さまを重点に，新規お客さまの獲得に力点をおいた施策を展開してきた。

その結果，期間中の総販売台数は目標6,200台を上回る6,865台(目標対比110.7%)となった。特に，昨年度と比較すると，新築住宅への導入は大きく伸びたが，買い替え需要は景気後退を反映して，昨年度実績より下回った。

期間中は，設置工事費割引セールを実施し，他熱源給湯機器を使用しているお客さまの買い替え時の工事費軽減を図った結果，戸建て住宅における他熱源からの買い替えは，1,427台となった。

期間中，電気温水器の問い合わせ専用に設置したフリーダイヤルには100件近い問い合わせが寄せられ，ＰＲ効果が強く表れてきている。

また，期間中電気温水器を購入していただいたお客さまの中から，抽選で200名の方に旅行券をプレゼントすることとしている。

期間中の販売台数　(台)

	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島	新潟	合計
他熱源買替	83	142	192	227	161	289	333	1,427
新築	41	86	57	272	70	142	1,564	2,232
買替	207	327	267	858	368	734	445	3,206
合計	331	555	516	1,357	599	1,165	2,342	6,865

目標　6,200台　　実績　6,865台　　目標対比　110.7%

「女性の目からDoするGoする省エネルギー」シンポジウム開催



2月26日，当社は，省エネルギー月間行事の一環として，女性を対象とした「女性の目からDoするGoする省エネルギー」シンポジウムを㈶省エネルギーセンター東北支部との共催により仙台市内において開催した。

シンポジウムに先立ち，㈱NHKエンタープライズキャスターの勝部領樹氏が「エネルギーと環境の将来を考える」と題した基調講演を行った。この中で同氏は，「湾岸戦争が起こった時，日本人はエネルギーに対してほとんど危機感を持たずに，どんどん消費を行っていた。一人ひとりの意識が省エネに結びついていく。女性の力で，生活スタイル全般を考え直していこう」と訴えた。

続いて行われたシンポジウムでは，ホームエコノミストの篠崎悦子氏をコーディネーターとして，勝部氏をはじめ，生活評論家の金森房子氏，尚絅女学院短期大学教授の出村和子氏，東芝生活文化研究所主任研究員の伊藤晶子氏の4氏をパネラーに迎え，衣食住，仕事，教育など幅広い分野にわたって省エネのあり方や環境問題などについて女性の立場から論議を交わした。

会場は，参加した約300名の女性たちの熱気に包まれ，エネルギー問題に対する関心の高さを示した。

「らぷらす」一周年
入館者5万人達成！

長岡営業所内のコミュニティースペース「らぷらす」が開館一周年を迎え，2月3日から15日にわたり記念行事が行われた。

「らぷらす」は，開館以来，新感覚のコミュニティースペースとして，長岡地区を中心に数多くの地域のみなさまからご利用いただいている。今回，一周年を記念して，「ゴッホの愛した浮世絵版画展」をはじめ，コンサートや講演会，地域の方と一体となったふれあい感謝デーなどの行事が行われ，大勢のお客さまに楽しんでいただいた。

また，2月10日には，入館者5万人を記録し，渡辺副所長から5万人目の入館者となった新潟市内の主婦石黒寿満子さんに記念品が手渡された。

第39回 技術開発報告会 開催される

2月16日，本店において，第39回技術開発報告会が開催された。



この報告会は，技術の水平移行による相互の技術レベル向上，技術の社内への周知，そして社員の研究意欲，発表能力の向上を目的として昭和58年より実施されている。

当日は，本店，支店，関係会社などから約200名近くが参加し，今年度最後の報告会ということで，熱心に耳を傾けた。

最後に講評に立った松田副社長（総合技術委員会委員長）は，「同じ電力会社の仕事でも，それぞれテーマにより問題点もかなり違う。何事もチャレンジ精神で取り組んでいかなければならない。多少未完成のものでも，いろいろな場を利用して，前向きに発表し，みんなで盛り上げていくことも大切だと思う」と述べた。

なお，今回の発表テーマは以下のとおり。

＜第39回技術開発報告会発表テーマ＞

1. 石炭灰砕石の開発（中間報告）―石炭灰グランド中層材―　（電力技術研究所）
2. 新配電系統保護システムの開発について（中間報告）　（配電部）
3. イネの耐冷性制御技術の開発（中間報告）　（応用技術研究所）
4. 炉心管理システムの高度化研究（その1）　（原子力部）
5. 微量リン自動分析監視計器の開発研究（応用技術研究所）
6. 洞道内無線通信システムの導入について　（情報通信部）
7. レーザー照射法による海生物付着防止に関する研究（中間報告）　（電力技術研究所）
8. 穀類乾燥貯蔵機の開発について　（お客さまサービス部）

総合技術訓練センター 「第11回福島県建築文化賞」に輝く

当社総合技術訓練センターは，「第11回福島県建築文化賞」において，特別部門賞を受賞した。

同賞は，地域の景観づくりなどに役立っている建築物を対象に毎年行われている。今回は，昭和61年4月から平成3年3月までに完成し，平成4年4月1日現在で使用開始後満1年が経過した建築物が対象となり，福島県内各地から45点の応募があった。

当社訓練センターは，太平洋の海岸沿いに位置し，異なる材質を使った本館研修棟，宿泊棟，シュミレーター棟が翼をイメージして配置されている点が高く評価された。

なお，表彰式は，2月4日福島市内で行われ，表彰状と記念品が贈られた。



CM制作の現場から③ 最終回

1月号より3回シリーズで掲載することとしておりましたこのコーナーも，今回が最終回となりました。

おかげさまでコーポレートソングを使った企業CMもまもなく完成の運びとなり，みなさんにご覧いただける日も近いと思います。

今回は，完成間近となったCM制作の舞台裏をご紹介し，コーナーの締めくくりにしたいと思います。

クレイメーションでCM表現！

今回のCMの特徴は，キャラクターを起用するということだけでなく，クレイメーションで表現するということです。

クレイメーションとはクレイ・アニメーションの略で，粘土を使った立体アニメーションのことです。この手法は，アニメーションにはない立体のリアルな空間を創り出せ，キャラクターをまるで生きているように（かたち，質感）見せることができます。（以前はやったヤクルトミルミルのCMなどがそれ）

この「実在のものの動きに大変近い動きをさせることが可能」というメリットに着目し，リアルでより親しみを感じてもらえるように，キャラクターの世界をクレイメーションで表現しようということになったわけです。

クレイモデルの制作は完全分業制で行われた。通常のクレイモデルはすべてクレイ（粘土）で作られるため重くて不安定なのだが，グットマン氏の手法は，モデルを型取った発砲スチロールの芯の上にクレイをコーティングしてあるためとても軽い。しかも，足だけは金属でできているので全体に重心が低く非常に安定している。これは世界中でグットマン氏のみのオリジナル手法だそうだ。

撮影はスイスで！

お客さまの目にふれるCMですからより質の高いものをと考え，キャラクターのクレイ制作・撮影は，最近世界的にも注目されているスイス在住のアニメーション映像作家オットマー・グットマン氏に依頼することにしました。

日本も含め現在75ケ国で放映され，とくに欧州では子供たちを中心に爆発的な人気を誇っている『ピングー』（ペンギンのキャラクター）は，このグットマン氏の作品であり，彼のストーリーを重視した，人間味あふれる演出は，肌ざわりを感じさせる，あたたかいキャラクターの世界を創り出すことで定評があります。

1月初旬，クレイの制作，CMの撮影がスイス最大の都市・チューリッヒの郊外にあるグットマン氏の自宅兼スタジオで，すべて「ピングー」と同じスタッフの手により始まりました…



芯の上に粘土を張り付けキャラクターを仕上げるスタッフ。さまざまな国籍の人たちの手によりキャラクターの世界が出来上がっていく。▶



キャラクター本体はもちろん，羽や髪などに至るまでいろんな形のものが用意され，キャラクターの動きにリアル感を出す工夫が随所に施されている。▼

◀キャラクターの芯になる発砲スチロールの型をつくるスタッフ。クレイモデルの制作は完全分業制だ。



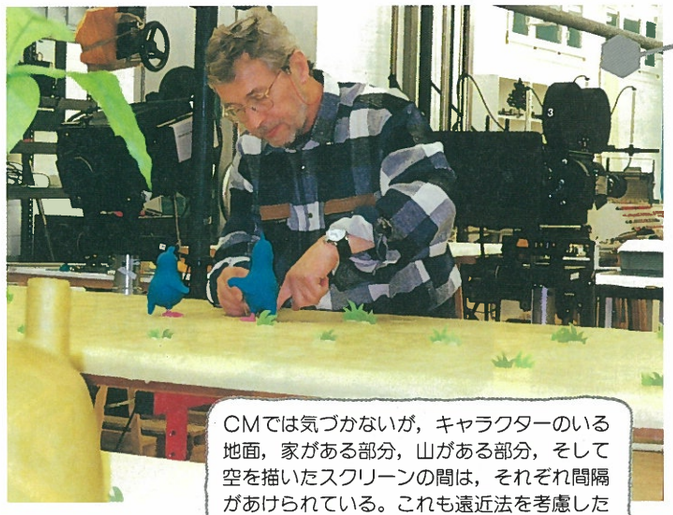
CM制作の舞台裏

クレイモデルの制作は分業制だが，キャラクターのポーズづくりや照明，カメラ回しなど実際の撮影現場だけは，すべてグットマン氏ただ一人によって行われる。「ピングー」と同じように細かなところまで気を配る彼のクラフトマンシップは今回の制作現場でも十分に生かされている。

「Active」篇の制作に費やした日数は，初めてつくるオリジナルキャラクターということに加え，１秒間に25コマのカットを一コマずつ変えながら撮影しなければならないため，クレイ制作から撮影完了まで約１ヶ月半というロングランの作業となった。ちなみに，60秒タイプは 1,500コマを撮影したことになる。



キャラクターにポーズをつけるグットマン氏。地面は微妙な凹凸で味を出すため，わざわざ小さなクレイの板（２㎝×５㎝）を何枚も何枚も時間をかけて張り合わせて作られている。



CMでは気づかないが，キャラクターのいる地面，家がある部分，山がある部分，そして空を描いたスクリーンの間は，それぞれ間隔があけられている。これも遠近法を考慮したグットマン氏の工夫であり，奥行きのある世界が出来上がった秘訣だ。





お母さんが持って来る洗濯カゴは，クレイの細いヒモを手作業で実際に編んで出来上がっている。しかも，撮影に使われたのは20個あまりも作られたカゴの中から選ばれたベストのたった一つだ。エプロンも同様。

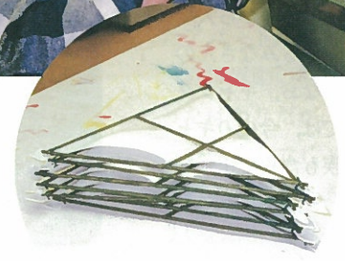
カモメや凧など空を飛ぶシーンは，グットマン氏にとって初めての試みであった。また，多くのクレイメーションは合成技術を使っているが，グットマン氏は合成は絶対に使わない主義である。

そのため，これらのシーンは撮影にかかった15日間のうち10日間も費やし慎重に撮影された。そのかいもあって，予想以上にスムーズな浮遊感あふれるシーンの数々が出来上がった。

おかげで残りのシーンにはたった５日間しかさけず，その間ほとんど徹夜の作業になってしまった。



▲凧の飛び方をリアルに表現するために，グットマン氏はわざわざ図書館から航空力学とハングライダーの専門書を借りてきて，それを参考にしながら撮影をすすめたという。



◀凧も複数制作した中のいいものを選んで使用した。飛行シーンは合成を使わず目に見えない細い糸で吊して飛ばした。



オットマー・グットマン OTMAR GUTMANN

1937年，ドイツ・ミュンステルタル生まれ

グットマン氏のコメント；『私は最初に見たときからこのキャラクターをとても気に入りましたが，作業を続けていく中でさらに愛着がわいてきました。このキャラクターが日本でピングー同様に愛されることを願っています』



ヨーロッパの子供たちから大人気の「ピングー」。国内でもビデオやキャラクターグッズなどで注目を集めている。

〈受 賞 歴〉

1973年　スコトニー賞受賞
　　対象作品…子供向けクレイアートシリーズ22話
1975年　アドルフグリム賞銀賞受賞
　　対象作品…子供向けクレイアートシリーズ6話
1978年　特別ＥＤＩ賞受賞
　　対象作品…12分のコラージュ映画
1984年　世界依託制作映画大賞受賞
1988年　ベルリン映画祭ベルリン小熊賞受賞（ドイツ）
　　対象作品…〝ピングー〟シリーズ
　　ブルジョンプレス映画祭賞受賞（フランス）
　　対象作品…〝ピングー〟シリーズ
1989年　銀の象賞受賞（インド・ニューデリー）
　　対象作品…〝ピングー〟
1991年　ヤング賞受賞（ドイツ・ミュンヘン）
　　対象作品…〝ピングー〟シリーズ
　　銀の象賞受賞（インド・ニューデリー）
　　対象作品…〝ピングー〟シリーズ
　　ＮＨＫ前田賞受賞
　　対象作品…〝イグルー〟
1992年　金賞（ニューヨーク）
　　対象作品…〝ピングー〟シリーズ
　　銀賞（カイロ・エジプト）
　　対象作品…〝ピングー〟シリーズ
　　ヤング大賞受賞（メッドフォード・カリフォルニア・アメリカ）

おわりに

3回にわたってお送りした『CM制作の現場から』，いかがでしたか。1月号に掲載されて以来，社誌のアンケートなどを通じてみなさんから大変たくさんの反響があり，CMに対するみなさんの関心の高さに改めて驚きました。なお，キャラクターの愛称『てくてく』については，今後のキャラクター展開も考慮し，その家族も含めて正式なネーミングを検討中です。

広報部では，当社の新しい企業像を構築していくためのさまざまな施策を検討中ですが，今回のシリーズではその一例としてテレビCMにスポットを当ててみました。

もちろん，テレビCMだけで新しい企業イメージをつくっていくには限界があります。やはり大切なのは，わたしたち社員一人ひとりの意識と行動であり，お客さまから好感をもたれ，必要とされる企業となるよう，それぞれが自分の役割の中で常に新しい発想でトライしていく姿勢を持ち続けていくことが必要ではないでしょうか。

職場たんけん日記 第1回

引っ越し精算の巻

引っ越し精算はこう行われる!





社員約1万4,000名を数える当社では，職種も幅広く勤務地もさまざまであるため，一社員が会社全体の姿を理解することは困難です。このコーナーでは，東北電力の社員として少なくとも知っておきたい，あるいは意外と知られていない私たちの仕事について取りあげます。このコーナーが，他部門の業務への理解・関心を高めるとともに，従業員相互のコミュニケーションに役立てば幸いです。

「たんけん」希望の業務がありましたら，巻末のアンケート用紙でどしどしお寄せください。

春3月は別れの季節。電気の「精算」も忘れないで?!



「何か忘れているような気がする」というせりふで始まるコマーシャル。電気の引っ越し手続きの意識喚起と早目の申し込みを呼びかけた。

「いやー，やっとウチへ帰れてホットしているんですよ」と話すのは新潟市女池（めいけ）のアパートに住む飯島岩雄さん。飯島さんは2月の異動で単身赴任に終止符を打ち，家族の待つ長野県へ引っ越しの準備中だった。「いろいろと忙しいのですが，会社の担当者がきちんと面倒を見てくれますので水道，ガス，電気などの手続きもバッチリですよ」とダンボール箱が山積みとなったアパートの玄関先で軽快に語る。

春は異動の季節。当社でも先日臨時異動があったばかりだが，さて電気の引っ越し，どうやっているんでしょうか。えっ，そんなのわかっているって，まあそう言わずにおつきあいください。

電話の受付は確実にそしてスピーディーに!

「毎度ありがとうございます，お客さまセンターです」

「あのー，今度引っ越しするんですが…」

「はい，えーとお客さま，『お客さま番号』はおわかりでしょうか」

「えーと，どこに書いてあるんですか…」

「電気使用量のお知らせ，あるいは領収書に書いてあるんですが…」

ここは新潟営業所のお客さまセンター。ちょうど今，引っ越しの申し込みを電話で受付中である。担当者はオンラインのディスプレイでお客さまを確認し，地図で場所を把握している。

「お引っ越し先はどちらでしょうか」

「新潟市東青山１－５－１　プロローグ青山…」

「そちらにお入りになりましたら，ブレーカを上げて電気がつくのを確認した後，部屋の中にあるハガキか，あるいは電話で，電気使用の申し込みをお願いします。ありがとうございました」



◀「仕事は明るく楽しく」親切なお客さま対応を心掛ける能勢主任。

この一連のやりとり，３分以内で終わらせるようにしているのだという。お客さまが公衆電話からでも10円で用件を伝えることができるようにとのことだ。言われてみると当たり前のことだが，こうしたちょっとした心配りがお客さまサービスにつながっているのだろう。

引っ越しに係わる一連の業務を当社用語では「全廃（ぜんぱい）」と言うが，新潟営業所では「全廃の神様」と呼ばれるお客さまセンターお客さま係の能勢（のせ）主任にお話を伺った。

「全廃の受付から精算作業まで，つい最近まではすべて社員がやっていたのでピーク時などはトイレに立つこともできないほどでした。今はエルク（㈱電力ライフ・クリエイト）に委託しているので日曜日にも全廃作業ができるし，とっても効率的になりましたね」とにこやかな笑顔で答えてくださった。

「全廃の流れですが，電話で申し込みを受けたらまずお客さま番号をお伺いし，住所，氏名，電話番号，引っ越す日にちと時間を確認します。時間については，なかにはどうしてもと時間指定をなさるお客さまもいらっしゃいますが，午前あるいは午後のいずれかでお願いしています。というのも，一人ができる作業件数はせいぜい一日30件くらいが限度。残念ながら，時間指定にはとても対応できません」と，ますます多様化するお客さまニーズに対し，現場の責任者として申し訳なさそうに語る姿が印象的であった。

エルクが主役の現地精算!

全廃作業日前日に当社から委託を受けたエルクでは，明日の作業分を受け持ち区域別に振り分ける。そして翌日メーターの全廃作業を行い，電気料金を精算するわけだ。

「いやー，現地精算のお約束でお伺いしてもたまたま外出していらっしゃらないケースなんかもあって，２度足を運ぶこともあるんですよ。時間のやりくりがたいへんです」と語るのは，当社ＯＢで今年の３月でエルク勤務が丸５年になる大滝昭二さん。

「電気温水器や低圧電力などの契約もあると領収書を２枚，３枚書かなければならないなど時間がかかるので，『面倒くさいので後で請求書を送れ！』というお客さまもいましたよ。また，『電気屋さん，近くの運送屋まで布団を運ぶの手伝って』と言われたこともありましたね」とたんたんと語りながらも，翌日の作業分を確認する手を休めない。

「人間働かないとダメですよ。私は卓球をやるんですが，いつでもできると思うとかえってやらないもんですね。仕事をしてると張り合いがありますよ」

大滝さんの言葉の端々から感じられる仕事に対する愛着と責任とが，東北電力に対するお客さまの信頼を支えているのだ。



「体が動くうちは，みんなと仲良く仕事を続けていきたいですね」と大滝さん。

こんなときどうする……??!

Q 引っ越しの当日にまだ連絡していないことに気付きました。これからでも来てもらえますか？

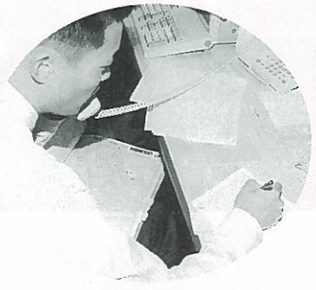
A すぐ別の方が入居してしまう、銀行口座も解約して遠方に引っ越してしまうなどの緊急の場合には、直営作業といって技術サービス係に連絡をとって全廃作業をすることができます。



引っ越し精算の流れ

◆現地精算の場合





オンラインディスプレイ，地図を見ながら引っ越し情報のメモをとる。



毎日午後になると翌日の作業分をエルクへ付託する。



臨時検針。メーターの指針を確実に読む。

NTTの引っ越し受付事情

さて，この全廃作業，他の企業ではどうやっているのか。ＮＴＴ新潟支店を訪ね，電話の引っ越し精算の仕組みを探ってみた。

電話と電気の引っ越し精算の大きな違いは，おおよそ，

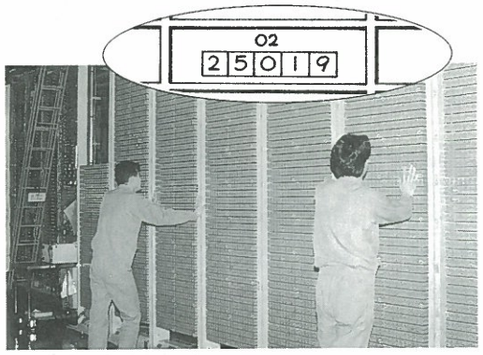
①電話は全国どこからでも116をまわす（最近は押すか？）だけ（電話料金はもちろん無料）

②現地精算は行なわず，後日全国９つの情報システムサービスセンタから請求される。

③電話番号が電話加入権について回るので，引っ越し後もお客さまと連絡がとりやすい。（電気の場合，黙って引っ越しされると追跡が難しい）

の３つ。

度数計イメージ図



クロスバ交換機では一つの電話番号ごとに度数計がついており，「調査日」に写真を撮り料金を計算する。この交換機も近いうちにデジタル化され，度数計はなくなって料金情報などはコンピューターに蓄積される。
（写真提供：ＮＴＴ新潟支店）

②，③については，現場精算の煩しさもなく料金の回収もしやすいので，当社から見ると大変うらやましく思える。



ＮＴＴ新潟116センタが抱えるお客さま数は約30万。担当社員はヘッドホンをつけ，スムーズな対応をしていた。３月末の繁忙期には，最大で１日約1,800本の電話を受け付ける。

しかし，ユーザーの立場からはわかりにくいこともある。例えば②のように料金は全国９つの情報システムサービスセンタから請求されるが，引っ越し当日ではダイヤル通話料は確定できるものの電報やクレジット通話などの料金がまだ未確定なため，引っ越し日に請求額が確定できないしくみとなっている。このため，場合によっては引っ越し後１か月以上もたってから日割り分の料金の請求があったり，あるいは場合によってはほぼ同時期に請求書が２枚届くこともあるという。引っ越し日に精算が済む電気やガスなどと比べて分かりにくく，お客さまにご理解いただくのに苦労しているとのことだ。



ポケット電卓で料金を計算。



いよいよ始まる全廃ピーク……

事前のＰＲがカギ！

さて，３月からいよいよ全廃ピークが始まる。このピークをどうやって乗り切るのか。前出の能勢主任に聞いてみる。

「引っ越しの電話が多くなって来るのは，３月の中ごろからです。このころになると子供さんの学校も終わり，公務員の転勤も発表されるため，電話が殺到するんですよ」

今年の予想では，申し込み件数のピークが３月22日で580件，作業件数が４月１日で700件を見込んでいる。今までトップの仙台営業所が２分割となる今春からは，新潟営業所が全店一の作業量となる。この膨大な処理を，①アルバイト20名の雇用，②他課より社員10名（休日ピークは７名）の応援，③市役所への臨時窓口の設置（ＮＴＴ，ガスなど公共事業６者）などで乗りきっていく。



▲各課からの出動者は，事前に電話受付のポイントなどを研修する。

「早めのＰＲが肝心なんです。不動産屋や大手企業，官公庁へのチラシの郵送をはじめ，新聞広告，市報でのＰＲ，新潟大学周辺のアパートへのチラシの配布など，あの手この手の工夫をしています。それに加え，ピーク期間中は引っ越し専用電話の開設と回線の増設も行います。この１か月はまるで戦場ですよ」

一番たいへんなのは当社に何の連絡もなく引っ越してしまうなどのイレギュラーな仕事なのだという。これらを１件１件つぶしていくには，普通に仕事をするのに比べて何倍もの時間と労力とがかかってしまうので，事前のＰＲがいっそう重要になってくるわけだ。



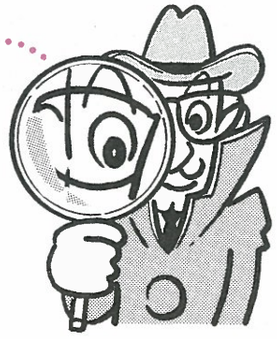
▲能勢主任の指導のもと二人一組で実戦訓練中！



▲とまどいながらも電話応対の練習に励むアルバイトのみなさん。

この社誌が出るころはまさに全廃ピークの真っただ中。営業所のみなさん、頑張ってください。そして、これから引っ越しを行うみなさん、電気の引っ越しは５日前までに…。

さ～て，次は何を探検しようか。
次回をお楽しみに！



最終回

PAL奮闘記

～本店～

当社の原子力ＰＡ推進者、ＰＡＬの活動を紹介して、私たち一人ひとりのＰＡ活動に役立てていこうというこのコーナーも最終回を迎えました。

今回は、昨年12月に各電力会社などの女性社員ばかりが参加して開催されたＰＡ研修会のちょっとおもしろい話題を本店ＰＡＬの田村さんから、また、ネットワーク誌「ＰＡＬＰＡＬ通信」で当社のＰＡＬ39人の情報交換をはかっている話題を、取りまとめ役の山賀さんからお話ししていただきました。

ちょっとおもしろいPA

去る12月９日～11日，電気新聞主催のＰＡ研修に行ってきました。各電力会社のほか，関係企業などの女性社員ばかり39名の参加です。

講義は評論家の上坂冬子さんや参議院議員の小池百合子さんなど，原子力ＰＡを多面的に展開していくための内容が目白押しで，どれも「こんな視点もあるのか」と改めて国際的視野の必要性を感じさせられる内容でした。

ただ，研修の中で一番印象に残ったのは研修生同志の情報交換です。同じ悩みを抱える者同志が話を進めていた中から，ちょっと面白いＰＡ方法を聞いたのでご紹介したいと思います。

その1 「原子力発電所ものがたり」

（：某電力のＰＲ館で行われている子供向けのＰＡですが，婦人層にも人気があるということです。）

＊まず，社員がそれぞれ中性子・ウラン・水・タービン・発電機・送電線などの役割をもち一列に並びます。原子力発電所から送電線をつたってお客さまに電気が届くまでのしくみを担当者が説明しながらそれぞれ演技（例：水が沸騰するところなど）をしてもらい，最後に「電気」の係が隠し持っていた懐中電灯をつけるのがミソ。一度見ていただいた後，お客さまに参加していただくのも効果的だとか。

その2 「目には目、歯には歯ＰＡ」

（：お客さまとできるだけ環境の似た人がＰＡを行うというものです。）

＊たとえば，子供を持った母親には子供を持つ女性社員が，年配の方には年配の社員がＰＡを行うと効果的なのだそうです。当然，対象が多様化すればＰＡをする側にも多様な対応が求められるため「毎回同じ人間だけがＰＡをする」という偏りがなくなり，社員みんなでＰＡができるようになるということです。

◆

誌面の都合で全部はご紹介できませんが，実際の第一線でお客さまと接する中から生み出されたＰＡ法だけあって，かなり具体的な方法がいくつも紹介されました。やはりＰＡは「まず，実践ありき」なんだということをつくづく痛感させられた研修になりました。

（ご希望の方にはこのほかのアイデアＰＡ法もお知らせしますので，広報部・地域交流課の田村さん（内911-2126）までご連絡ください）



本店ＰＡＬの田村宗子（もとこ）さん（広報部，写真右）とＰＡＬＰＡＬ（ぱるぱる）通信取りまとめ役の山賀緩子（やすこ）さん（広報部）

各地に散らばるPALをむすぶ、ネットワーク誌

「PALPAL（ぱるぱる）通信」

ＰＡＬが発足したのは今から２年ちょっと前，平成２年８月のことですが，最初の研修で，「せっかくできたこのネットワークを生かせないか」「今後も連絡をとりあっていきたい」という意見から生まれたのがミニコミ誌風『ＰＡＬ（ぱる）ＰＡＬ（ぱる）通信』です。（以後『ＰＡＬ²通信』に略）

現在ＰＡＬは各支店管内に５～６名づつ，計39名おりますが，支店ごとに事務局を持ち回って作成しており，次回の宮城版でちょうどひと回りします。けっこう内輪受け的なところもありますので中身そのものは掲載しませんが，

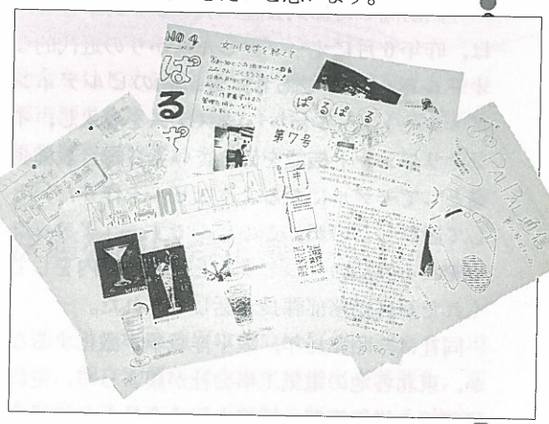
書式：フリー，枚数：フリー，内容：フリー，
手書きでOK，締切：特に定めず

と，全く気ままにやっています。

内容はだいたい近況報告，自分のＰＡ活動の体験（失敗!?）談，地元のエネルギー施設の紹介等が中心となっていますが，主婦ならではの子供の話題やおいしいもの情報，味のあるイラストなども載せたりして，とっても楽しいんですよ！

発足当時は，研修等でよく顔を合わせていたものの，最近はみんながそろう機会がほとんどありません。しかし，このネットワークのおかげで，個人的に情報交換や資料提供などやっています し，別の会議で久し振りに会ったりすると，それぞれ髪型や体型（おっと，これは禁句!?）が変わっていたりして，まるでクラスメイトのように話が弾みます。

ＰＡＬには広報系列の方が多いのですが，料金やお客さまセンターの方もいれば，技術系の職場にいる方もいます。このように部門を越えて，共通の目的で存在する組織は，他に例を見ないのではないでしょうか？これからもこのネットワーク，ＰＡ活動においてはもちろん，それ以外においても大切にしていきたいと思います。



昨年７月から始まったこのシリーズも，今回で終了となりました。

各地のＰＡＬの活動はみなさんの目にはどのように映ったでしょうか。難しいと思ってしまいがちな原子力の話題を，そこに暮らす地域の人たちの目線で考えながら活動していこうというＰＡＬのみなさんの活動にはたくさんのヒントが隠されていたように思います。

言うまでもなく原子力ＰＡ活動は，私たち一人ひとりが本気になって取り組まなければならない共通の問題です。

これからもさまざまな場面でＰＡＬの活動にふれられると思いますが，彼女たちの活動の中から自分ならどういうことができるのかを考え，実践していくことも大切なことではないでしょうか。

最後に，実際に取り組んでいる活動を文章にする難しさや，それを限られたページに展開するということに頭を悩ませながらも快く原稿をお寄せいただいたＰＡＬのみなさんに心からお礼を申し上げますとともに，これからの一層の活躍を期待したいと思います。

GROUP ウォッチング

●このコーナーでは，東北電力企業グループ各社の活動を紹介していきます。

Yurtec 株式会社 ユアテック



1階受付。女子社員2名がさわやかな笑顔で迎えてくれる。



地上15階と仙台市内で5番目に高い

今回訪問した株式会社ユアテックの本社ビルは，昨年6月にオープンしたばかりの近代的なオール電化ビルである。最新式のビルディング・オートメーション・システムを導入し，インテリジェント機能を備えている。「総合設備企業としてモデルになるようなビルを作りたいとして設計したのが，このビルです。ユアテックの誇れる商品の一つです」と今回，案内をしてくれた石井総務部課長が話してくれた。

同社は，昭和19年，太平洋戦争が激化するなか，東北各地の電気工事会社が集まって，主に配電線の維持管理・補修を行う会社として設立された。その後，屋内配線・空調・衛生・給排水・情報通信・土木・建築など業容を拡大し，現在は設備工事全体を請け負う総合設備エンジニアリング企業として，日本国内はもとより海外にも広くその高い技術力を誇っている。

平成3年4月，ＣＩを導入し，併せて社名を東北電気工事株式会社から株式会社ユアテックへと改めた。「ユニフォームや車両などすべて一新しました。ユアテックという社名は，響きもやわらかく，あなたのための技術というメッセージも伝わり会社全体も明るくなりました」と石井課長。イメージ向上は，リクルート効果にも表れ，就職希望者も従来の3倍となり，一躍東北地方の人気企業となった。外部からの評価が高くなることで，社員自身の仕事に取り組む姿勢も変わり，ますます自信と誇りを持つようになった。「それに，作業服も少し目立ち過ぎるかなというくらいの色になりましたので，どこへ行っても一目でユアテックとわかってもらえますから」ユアテックブルーと呼ばれるこのコーポレートカラーは，今までの日本には無い色。色一つにも，こだわりが感じられる。

〈企業概要〉

- ●設　　立　昭和19年10月10日
- ●代 表 者　取締役社長　木下藤次郎
- ●従業員数　4,962名（男性4,679名，女性283名）
- ●事業内容　電気・空調・衛生水道・消防・情報通信・土木・建築工事などの調査，企画，設計，施工，メンテナンス，コンサルタント
- ●事 業 所　（支社）東京，青森，岩手，秋田，宮城，山形，福島，新潟，札幌，大阪，その他事業所　97カ所
- ●関連会社　13社

技術を支える小集団活動

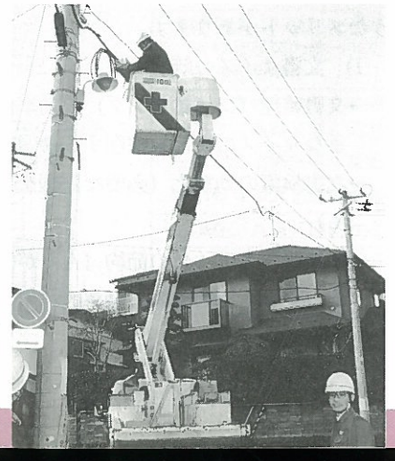
全社員が参加しての小集団活動は，昭和57年にスタートし，業務の効率化，技術開発，人材育成などを支える大きな推進力となっている。「年間約6,000件もの提案が寄せられます。小集団活動事務局が窓口となってまとめているのですが，毎月あまりの数の多さにうれしい悲鳴をあげています」何気ない会話の中から生まれたアイディアも数多くある。「毎日工事を行っていく上で，どのようにしたらいかに作業環境を良くし，効率的に安全に作業を進めていくことができるかを考えているうちに自然と生まれたアイディアもあります」その一つが『エアコン付きチョッキ』。高所作業車の油圧源を利用し，冷風・温風を取り出すことを考えたもの。夏場冬場の厳しい作業条件を少しでも快適にできないかなぁと考えたところから生まれたアイディアだ。この他にも，『変圧器タップ切り替え工具』の技術開発でいずれも澁沢賞受賞に輝いている。

また，小集団活動を通じて，社員一人ひとり，いろいろな場面で問題解決にあたる能力が向上した。「短時間で問題解決ができるようになったことは，大きな収穫でした。時間を有効に使うことも大切なことですから」

高度情報化に対応して

急ピッチで発展する情報通信システム。同社は，高度情報通信の受発進基地として位置づけられるインテリジェントビル分野にも力を注いでいる。ＢＡ（ビルディングオートメーション），ＯＡ（オフィスオートメーション），ＴＣ（テレコミュニケーション）の各システムは，クリエイティブなオフィス環境と信頼性の高いセキュリティを構築する。

このような各種設備の企画・提案から設計・施工・メンテナンスまで提供している。また，



東北各地で行われているＣＡＴＶケーブル接続工事。



◀本社ビル1階にある「ユアテックプラザ」2階までの吹き抜けで，広く一般のお客さまに開放されている。



▼ＣＡＤシステムを活用して図面をひく。女性の力もおおいに発揮できる。

仙台をはじめ青森，八戸，米沢など東北各地の都市型ＣＡＴＶ（有線テレビ）システムの設計・施工も手掛けている。

快適を届ける企業へ

同社は，平成6年に創立50周年を迎える。現在は，創立50周年記念事業推進室を設置し，記念行事のあり方などの検討を行っている。また，ＣＩ導入時には「ユアテック21世紀ビジョン」を策定し，21世紀初頭に望ましい企業の姿を描き出し，それを目指して全社をあげて取り組んでいる。「今後の課題として，技術開発を進め，より一層お客さまの信頼にお応えしていくとともに，工事の段階からではなく，より一歩踏み込んで，お客さまとともに企画・提案の段階からかかわり，より快適さをお届けする企業へと成長していかなければならないと感じています。そのためには，それに適応できる人材の育成も大切だと考えています」と抱負を語ってくれた。

同社は，総合設備エンジニアリング企業として，電気を届ける企業から快適を届ける企業へと大きく飛躍しようとしている。

TOPICS

総務部法務課

社内文書規格のA4化について

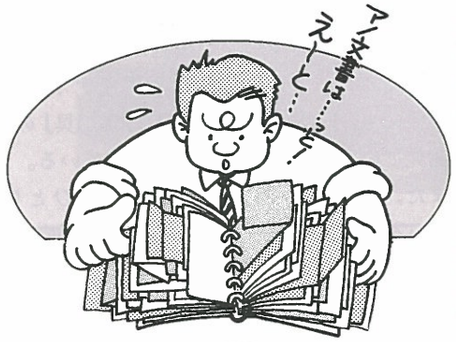
A4サイズ社外文書の増加

最近，文書の整理（ファイリング）で不便や煩雑さを感じることはありませんか？

社内で作成する文書サイズの多くはＢ４かＢ５となっていますが，ここ数年，特に社外から送られてくる文書はＡ４サイズが増えてきています。このため，Ａ４の社外文書を添付して社内の決定書や報告書を作成したりファイルする際に，サイズが不ぞろいとなってしまい，飛び出している部分を織り込んだり，縮小・拡大コピーでサイズをそろえたり，別なバインダーやファイルに綴じ込んだりといった手間がかかる場合が多くなっています。

現在，民間企業の文書サイズの63％はＡ４となっており，既にＡ４が主流になっていますが，国や地方自治体などの官公庁の文書はＢ４／Ｂ５がほとんど（約90％）となっています。しかし，昨年６月の第三次行革審の第３次答申において，行政文書の用紙規格をＡ４判とするとの提言が行われ，これを受けて，昨年12月，国では，行政文書の用紙規格を平成５年４月以降速やかにＡ４判に統一することにしました。

さらに，こうした国の動きを受けて，地方自治体レベルでもＡ４サイズへの移行を検討し始めています。このため，今後，社外文書のＡ４サイズはますます増加するとみられており，当社もこうした動きに合わせ，文書サイズのＡ４化を進めていく必要があります。



A4サイズ統一のメリット

Ｂ系列の用紙サイズは，和紙（美濃紙）のサイズを原型とし，８世紀初めの白鳳時代に戸籍用紙のサイズとして使われた記録があるほか，江戸時代には将軍家ご用達の公文書用紙サイズだったなど，昔からわが国の文書サイズの基本でした。しかし，国際的にみるとドイツの工業規格をもとにしたＡ系列が大勢を占めており，Ｂ系列は日本固有の規格になっていることから，国際化の進展が著しい昨今，サイズの不統一が問題となってきており，今回の国の決定でも国際化対応というのが一つの大きな理由となっています。

このほかに，文書サイズのＡ４化には，次のようなメリットがあります。

(1) 文書サイズの統一
→文書整理（ファイリング）の効率化（さまざまなサイズの文書を整理する手間を省力化）
→文書検索の効率化（必要な書類を見つけやすく）
→文書保管スペースの節約（Ａ４が標準仕様となっている事務機器の効率的利用）

(2) 両面コピーの容易さ→文書量の削減，コスト低減，資源の有効活用
（Ｂ４はコピー機器の機能上の制約から両面コピーが煩雑）

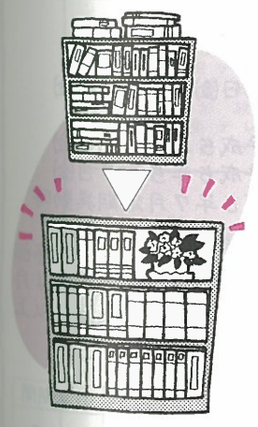
(3) 資料ワンペーパー化の促進→記載事項の重点化，資料の簡素化
（Ａ４変更により，従来文書の必要性や内容の見直しを行い，記載事項を重点化）

A4化の実施要領

以下により，社内文書サイズのＡ４化を実施します（総法発第54号〔平成５年２月19日〕で本店各室部，各支店・支社，各発電所に通知済み）。

1. 平成５年４月１日をもって，文書規格の標準をＡ４に変更する（文書規程の一部改正）。
Ａ４サイズ１枚では記載事項が納まらず，Ａ４の複数枚では一覧性を欠いて業務効率化に反するケースなどのやむを得ない場合を除いては，Ａ３の使用を認めない。Ａ３とした場合，Ａ３のままファイルしたりせずに，保管スペース節約のため，ファイルの際は，折り畳んでＡ４サイズとするか，Ａ４に縮小して保存する。
2. Ａ４使用にあたっては，「縦長使用・横書き」を原則とする。
ただし，表・グラフなどＡ４横長使用が適切なものについてはＡ４横長使用も可能。
3. Ａ４化の例外とするもの（Ａ４化対象外文書…別表のとおり）
4. 移行措置
(1) 会社規程により定められている様式・書式については，今年12月末完了を目途に作業が進んでいる「会社規程の全面見直し」の中でＡ４に変更する。
(2) 既にパソコン・ワープロでＢ判の書式・様式を設定済みのものについては，順次見直しを行い，平成６年３月末完了を目途にＡ４に変更する。
(3) Ｂ判で書式・様式を印刷し，その在庫が大量にあるものは，在庫の有効活用の観点から，当面使用を継続することも可能とする（使用継続期間等については，各書式・様式を主管する各室部より別途指示する）。

移行に当たっては，長年慣れ親しんできたＢ４／Ｂ５サイズへの愛着や，各種サイズの一時的な混在もありうると思いますが，文書事務の効率化や国際化対応の観点からの移行ですので，よろしくご協力をお願いいたします。



Ａ４化対象外文書

項目	具体例
①社外提出文書で、提出先よりＡ４サイズ以外が指定されているもの、もしくは提出先との調整が困難なもの	契約書、金融機関への各種届出様式
②法令等で様式の定めがあるもの	
③システムの機械作表など、システムの変更を要するもの	
④帳票類（一式の資料としてファイルされる他の文書の有無やサイズの統一性を考慮して適宜定める。ただし、Ａ系列を基本）	
⑤Ａ４以外のサイズのみで一式の資料・書類が構成されており、Ａ４文書との混在が起こりにくいもの	土地測量図、勤務表入力原票
⑥特定の用紙規格が求められるもの	ポスター、表彰状
⑦小型サイズで使用されるもの	要覧、安全作業心得
⑧現在、Ａ５／Ｂ６サイズ以下で使用しているもの	辞令、送付書
⑨その他	パンフレット、書籍
⑩通常、①～⑨とともに、一式の資料として使用するもの	

掲示板

第360回社債の発行について

第360回社債について、下記の内容で発行いたしましたのでお知らせいたします。

記

1．目　　的　設備資金および社債の償還資金に充当
2．社債の種類　普通社債
3．発 行 額　額面400億円
4．各社債の金額　100万円券の１種
5．発行時期　平成５年２月
6．利　　率　年4.95パーセント
（応募者利回り　5.003パーセント）
（発行者コスト　5.139パーセント）
7．発行価額　額面100円につき　99円60銭
8．償還金額　額面100円につき100円
9．償還期限　12年（平成17年２月25日）
10．主幹事会社　山一証券株式会社
11．取得格付　ＡＡＡ(㈱日本インベスターズサービス)

第35回全電力卓球大会結果報告

1．期　　日　平成５年１月30日(土)～31日(日)
2．場　　所　名古屋市総合体育館　第二競技場
3．結　　果
(1)団体戦
（男子）　優　勝　東京電力
準優勝　東北電力
第三位　関西電力・九州電力
（女子）　優　勝　北海道電力
準優勝　中国電力
第三位　東北電力・東京電力
(2)個人戦
（男子）　第三位　新貝　博(配電部 配電計画課)
（女子）　準優勝　福井　容子(山形営業所)
第三位　川瀬　正子(新潟営業所)

平成4年度全社囲碁・将棋大会結果報告

1．期　　日　平成５年２月６日(土)～７日(日)
2．場　　所　福島市飯坂町字十綱町42「若喜 別館」
3．結　　果
(1)囲碁の部　優　勝　新潟チーム
準優勝　福島チーム
第３位　宮城チーム
(2)将棋の部　優　勝　青森チーム
準優勝　山形チーム
第３位　岩手チーム

社内預金保全委員会公示

平成５年２月４日
社内預金保全委員会

社内預金保全委員会規程第４条に基づき平成４年12月31日現在の社内預金の保全状況について、保全委員会を開催し確認したので、社内預金に関する協定書第15条により公示する。

平成5年度東北電力学園専門部学生選考実施のお知らせ

1．試験実施日程
(1)　応募受付期間
平成５年３月19日(金)～４月16日(金)
(2)　試験日
①筆記試験　平成５年４月23日(金)
②面　　接　平成５年５月７日(金)
(3)　発　令　平成５年７月定期異動時
2．応募資格
高等学校卒、または東北電力学園高等部卒の資格を有するもので、平成５年４月１日現在勤続８年以上または技師補以上の技術系一般社員
3．募集人員および教育期間

専攻コース	募集人員	教育期間
発変電、送電、配電、情報通信、機械の５系列	33名程度	11か月

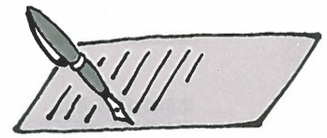
4．応募方法その他　各店所に配布の「募集要項」を参照してください。

研究期報第71号の原稿募集

研究期報は、皆さまの日頃の研究の成果を広く社内外に発表する〝場〟として発刊し、全社研究意欲の高揚をはかるとともに、業務遂行の一助としております。
つきましては、下記により原稿を募集しますので、全職場の皆様から多数のご投稿をお願いいたします。

記

1．原稿用紙
特に指定はしない。(ワープロも可とする)
2．枚　　数
原則として１編（400字詰原稿用紙）30枚以内（最少限の付図、付表、写真なども含む）とする。ほかに抄録カード用として300字程度の概要を付すこと。
3．原稿の書き方
執筆にあたっては、「研究期報投稿の手引」により、手順よく明確に内容を理解しやすいようにまとめること。(手引を必要とする方は研究業務課へご連絡ください)
4．原稿締め切り
平成５年４月30日（必着）
（発行予定　平成５年７月）
5．投 稿 先
本店（電力技術研究所　研究業務課）
支店（電力部）
東京支社（業務課）
6．謝　　礼
掲載原稿には記念品を贈呈いたします。



当社が提供するテレビ・ラジオ番組

新サンデー・トーク

ごきげんよう草柳です

○３月・４月の予定○

3月14日　「ニセモノ大国　日本」
小林　　侑（元科学捜査研究所）
3月21日　「大相撲に異義あり」
神谷　不二（慶応大学教授）
3月28日　「性教育論議を斬る」
高橋　史朗（明星大学教授）
4月４日　「不況下の人間発見」
坂川　山輝夫（現代Ｃ・Ｃ所長）

毎週日曜日

青森放送	午後	12：00～12：30
岩手放送	午前	10：00～10：30
秋田テレビ	午前	10：00～10：30
仙台放送	午前	10：00～10：30
山形放送	午前	10：00～10：30
福島テレビ	午前	10：00～10：30
新潟放送	午前	10：00～10：30

草柳文恵のお元気ですか

毎週月曜日→金曜日・５分番組

青森放送	午前	10：10～10：15
岩手放送	午前	9：45～9：50
秋田放送	午前	9：25～9：30
東北放送	午前	9：50～9：55
山形放送	午前	11：45～11：50
ラジオ福島	午前	10：45～10：50
新潟放送	午前	10：45～10：45

白い国紀行

○テーマ○
3/15～19　ふるさとの民間信仰
3/22～26　ふるさとワンダフル

毎週月曜日～金曜日

青森テレビ	午前	11：30～11：45
テレビ岩手	午前	10：00～10：15
秋田放送	午前	10：35～10：50
ミヤギテレビ	午前	10：00～10：15
山形テレビ	午前	10：00～10：15
福島中央テレビ	午前	10：00～10：15
テレビ新潟	午前	10：00～10：15

ファミリーサイエンス

毎週金曜日

青森朝日放送	午後	5：15～5：30
秋田朝日放送	午後	5：15～5：30
東日本放送	午後	6：45～7：00
福島放送	午後	5：15～5：30
新潟テレビ21	午後	5：15～5：30

あなたとアフタヌーン
沢田聖子の WITH YOUR LIFE

毎週土曜日

エフエム青森	午後	12：00～12：30
エフエム岩手	午後	12：00～12：30
エフエム秋田	午後	12：00～12：30
エフエム仙台	午後	12：00～12：30
エフエム山形	午後	12：00～12：30
エフエムラジオ新潟	午後	12：30～1：00

黒崎昭二のシャンソンをあなたに

毎週土曜日

エフエム秋田　午後　7：00～7：55

長い間ありがとうございました

平成５年３月
定年退職者の方のご紹介
（敬称略）

1. 入社年月日と入社時の会社名
[redacted]
3. 在職中の思い出
4. 後輩に一言



用地部付
東星興業株式会社出向
大木　剛
❶昭和30年４月１日　東北電力
[redacted]

❸ 電源や送電線用地業務の貴重な経験の中で，地主との交りを通してさまざまな人間模様を垣間見たこと。
❹ 強じんな肉体と精神力，人の和を大切に，豊かな感性を持って，社業と地域の発展に努力してください。

応用技術研究所付
東北発電工業株式会社出向
深瀬　盛郎
❶昭和33年４月１日　東北電力
[redacted]

❸ 35年間，火力発電所の建設，研究所，環境部門など各職場での経験をすべて思い出として残したい。
❹ やってみせて，言ってきかせて，させてみて，ほめてやること。これが大切です。





関連事業部付
東日本興業株式会社出向
兵藤　清
❶昭和26年３月10日　東北配電
[redacted]

❸ 42年間を通じて，素敵な人たちと知り合えたことを感謝しています。
❹ 会社のおかげで，貴重な体験をしていると思えば，仕事も楽しめるのですが。

人材開発部
東北電力学園専門部
武田　亨
❶昭和28年１月９日　東北電力
[redacted]

❸ 昭和30年当時，大型サービスカーで出回りはじめたばかりの家庭用電気器具普及のため，全営業所を訪問し，多くの方々と出会うことができたこと。
❹ 企業は人なりの言葉がありますが，東北電力の中の一員という認識ではなく，自分の振る舞いの中に東北電力があるとの自覚と誇りを持って行動してほしい。





関連事業部付
東北用地株式会社出向
小野寺昌一
❶昭和26年３月１日　東北配電
[redacted]

❸ 福島支店勤務時，昭和55年12月の雪害で，長期停電地域のお客さまに当社で初めて生活物資を配って回ったこと。
❹ 1. 安全管理はすべての業務に共存。2. 趣味を生かして心身の健康増進。3. 社会交流で豊かな生活環境づくり。





用地部付
株式会社ユアテック出向
早坂　達
❶昭和26年４月５日　東北配電
[redacted]

❸ 用地部門25年，特に，新潟県下越地域での用地業務９年間，各職場，各地域の人々との出会いとそこから学んだことすべてに懐かしい思い出がある。
❹ 健康と安全に留意され，ゆとりの追求と創出に挑戦してください。

青森営業所総務課労務係
市川三千郎
❶昭和30年２月５日　東北電力
[redacted]

❸ 明るい職場に恵まれて過ごさせていただいたこと。終戦後，電気機器の普及に奔走したことなどが懐かしい思い出です。
❹ 健康が第一です。十分に留意され，東北電力と地域社会の発展に努めてください。





弘前営業所
お客さまサービス課
三上　善則
❶昭和28年11月１日　東北電力
[redacted]

❸ 一番希望した東北電力へ入社が決定し，その通知を受けた時。風雪害の復旧に携わった時。
❹ 健康第一で社業の発展と地域の繁栄に奉仕し，有意義な日々を送っていただきたい。

秋田支店総務部
佐藤　貫治
❶昭和38年10月１日　東北電力
[redacted]

❸ 仕事のみではなく家族をも思いやる良き上司の言葉が励みとなり，無事故で過ごすことができたことが心に残る思い出です。
❹ 明るい職場と楽しい家庭を，そして人との出会いを大切に。健康で心豊かな人生を築いてください。





宮城支店付
東日本興業株式会社出向
山形安二郎
❶昭和26年３月10日　東北配電
[redacted]

❸ すべてが思い出となりましたが，特に，泉営業所時代の雪害復旧と，転勤先で多くの方々にお会いできたことです。
❹ 健康と安全に留意され，地域社会から，より一層信頼される東北電力を目指して頑張ってください。

直江津営業所
お客さまサービス課
牧野嶋昭作
❶昭和41年３月10日　東北電力
[redacted]

❸ 各職場で良き上司，先輩，同僚と苦楽をともに過ごし，特に雪害事故の時，深夜胸まで埋まりながら復旧作業に当たり点灯した時のこと。
❹ 健康と安全に留意され，明るく楽しい職場づくりと会社の発展に努めてください。大変お世話になりました。





これからもガンバッテください



新潟支店付
株式会社ユアテック出向
荒井　淳夫
❶昭和26年４月１日　東北配電
[redacted]

❸ 在職42年余，温かい先輩のご指導，よき同僚，素晴らしい後輩に恵まれ，数々の楽しい思い出がつづれたこと。
❹ 何より安全と健康を確保され，常に豊かな感性と組織観を持って仕事に人生に，たゆまず挑戦してください。

三条営業所総務課労務係
田代　昭自
❶昭和51年７月１日　東北電力
[redacted]

❸ 健康管理業務に従事したことで，大勢の方々との交流から得ることのできた数々の感動は，私の財産であり懐かしく思い出されます。
❹ 健康的な生活習慣を身に付けて，明るい職場と楽しい家庭を築き，充実した日々を送ってください。



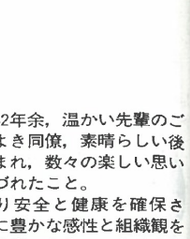


新発田営業所配電計画課付
財団法人東北電気保安協会出向
小池　敏夫
❶昭和32年３月１日　東北電力
[redacted]

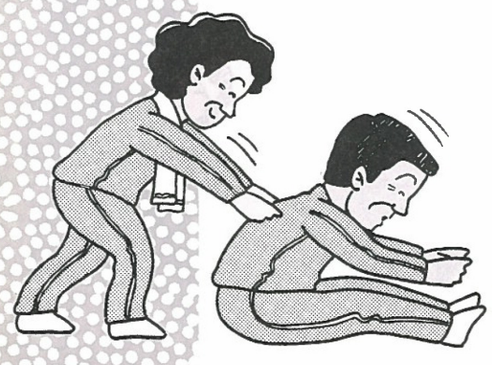
❸ 昭和42年８月28日の水害が起きた時，100％手動による厳しい復旧作業に当たったことが，今では懐かしい思い出となっています。
❹ 美しいものを見て「美しい」と素直に感動できる心のゆとりをいつまでも持ち続けてください。

村上営業所
お客さまサービス課
近　　喜六
❶昭和34年５月25日　東北電力
[redacted]

❸ 昭和42年８月28日の水害で道路が寸断され，旧国鉄の線路を借りてトロッコで資材や物資を運んだこと。
❹ 健康と安全を第一に，家庭の和，人の和，職場の和を大切にお客さまサービスの向上に頑張ってください。







COFFEE BREAK

●コーヒーブレイク●

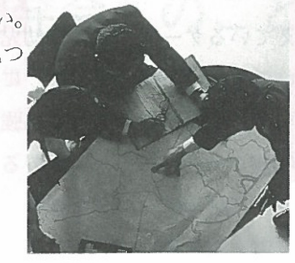
「3」について考える

３月号だから，というわけでもありませんが今月号のコーヒーブレイクでは〝３〟にまつわる話をしてみます。もし，みなさんのなかで国語の辞書を開く機会があった時は，ぜひ一度〝三〟のつく熟語を探してみてください。きっとあまりの多さに驚かされるはずです。また改めて私たちのふだんの生活で，身の回りを見渡してみても，この数にまつわる習慣（生活習慣等）や生活の様式（一般的習慣での１日の食事回数から大中小や高中低といったような物のおおまかな表現方法等），さらには司法・立法・行政（三権分立）また，領土・領海・領空といった国家に至るまで，〝万物の基となす〟と断言しても過言ではないと思えてきます。

ところでこの〝３〟という数は私たちの日常生活において，実は大変重要な数でもあります。例えばあなたの上司もしくはお客さまから，物理的にどう考えてもできないと思える仕事の依頼を受けたとします。はじめにできないと判断したにもかかわらず，その場しのぎで無責任に「できる」（Ｙｅｓ）とこたえますか。それともやるだけ無駄だと無情に「できない」（Ｎｏ）とこたえますか。たぶんみなさんのなかのほとんどの方は，それに対して100％こたえられないまでも，せめて自分にできる最善の策を考えることでしょう。これが〝３〟つ目のこたえと言えるのではないでしょうか。

ところが，この〝３〟という数は時にはあいまい，優柔不断，いい加減といったあまり好ましくない表現にも使われがちです。もしかしたらそれは〝３〟という数が単純に割り切れない数だからでは…。

ちょっとわき道にそれてしまいましたが，以上のように〝３〟という数字がいかに重要な数であるかがお分かり頂けたことでしょう。もし，あなたが仕事で行き詰まった時，プライベートに悩んだ時は活用してみてください。問題を３つにわけて考え，その解決方法を３つ見つけ出せば…ほら，見えてくるでしょう。



FREE TALKING

気ままにおしゃべり 3月

風　邪



妻が風邪をひいてしまった。べつにこき使った覚えはないが，どうやらはやり風邪のようだ。乳のみ子(３カ月の女の子)をかかえるわが家はもう大変。子供にうつしてはならん。かといって，おやじ（私です）は，おしめ・ミルク…うまくやれましぇ～ん。泣かれるともうダメ。結局妻が実家へヘルプ・コール。あ～あ，おやじの風邪なら一人で寝てるだけですむのに…。おやじのみなさんこんな経験ありませんかぁ？

（エレ・おやじ）

外から電力をみると

昨年の７月異動で関連会社へ出向したが，良い悪いは別にして外から電力を見ると次のようなことに気が付いた。

電力は社員が社員にやたら気を使う。やたらいばる人がいる。やたら人に仕事を言いつける人がいる。やたら会議が多い。やたら文書の書き直しが多い。仕事が多い人と少ない人の差が大きいなどであり，総合すると繁忙感や不満のため能率低下を招き，創造的な仕事ができなくなっているのでは？

しかし電力を離れてみて初めて電力の社内教育はすばらしいことに気が付いた。

（はみ出し出向社員）

セサミルームの惨状

最近オープンするスキー場には，セサミルーム（託児所）を備えているケースが多い。幼児がいても独身時代と同じようにスキーを楽しみたい夫婦には強い味方のセサミルームであるが，〝ママ行かないで〟などのワメキ声，泣き声のすごさ。それをふりきってゲレンデにカラフルなウェアで飛び出す夫婦。「私たちにだって楽しむ権利はあるのよ。少しの時間ゴメンネ」という気持ちで瞬間を楽しんでいる。そんな情景に近頃出くわした。

（パパコート）

俺の休みはいったいいつ？…

月曜から金曜まで，かわいい奥さん，子供のためにとせっせと仕事に頑張る俺。さあ休みだ～！と思いきや，ハイ，おむつよろしく。ハイ，だっこ，たかいたかいだって。ハイ本読んでだって。

土日なぜか保父さんになってしまう俺。

あ～，３食昼寝つきの休日はいったいいつくるのだろう？

（パパは今日もパチンコです♥）

ＬＤＣ整定計算サービスします。

社内での電話相談窓口でヒットNo.１は９１１－２８５８のＯＡセンター，No.２は９１１－３０７７技術開発係窓口と感じている。これらは何を聞いても恥ずかしくないし，親切に相談にのってくれるため電話を掛けやすい。

それでNo.３のヒットを目指し，９６３０－２２４(２２５)を設けようと考えている。内容は配変バンクのＬＤＣ整定計算サービスまた，ご希望の方には電圧調整マニュアルおよび計算ソフトを頒布します。仮設Ｔｒ運用時数時間でもＬＲ自動運転可能です。ぜひご利用ください。

（ＬＤＣ－バカ）

髪チョッキン

１週間ほど前に，腰まであった(ちょっと，オーバートーク！)髪を肩まで，こりゃあ見事にバッサリ切ったんですヨ。でもってパーマネントかけたぐらいにして。本人は，枝毛だけ切るつもりで美容院へ出掛けたものの，美容師が〝いや５cmだ，10cmだ〟の，髪の毛を切るのに細かいの細かくないの。〝ガタガタうるさいなあ，もうっ！〟っていうんで〝バッサリやって。バッサリ〟で，出来上がった髪型が，もうスーパーＧＯＯ！今度取材に来てください。タイトルは，

〝さわやかに変身を遂げた受付美女〟

（れーチャン）

「若松営業所開発会」のこと

「開発会」。これは，20数年前に営業所組織に開発課というセクションがあり，改名（サービス課に）された時に在籍者がいつまでも親睦をはかっていこうと発足したものです。以来，毎年年末に会津若松で会合を持ち，近況報告を兼ねた飲み会を開いている。会員は（つまり開発課名存続中在籍したものだけの）20数名いたが，病死や事故死などで４名が減った。平均年令も60才をゆうに超えた。酒量も減った。体も不自由も訴えるようになった。それでも「開発会」は続く。年一度の楽しい集まり。

（ほしな　けんいち）

なごやかに してくれるもの

私はとても動物が好きである。特に犬・猫が好きだ。あの毛が温かく，心をなごやかにしてくれるのだ。

自分が少年のころから，ペットがいたので，今，寮生活で少し，さみしい思いをしている。動物も言葉をわかるので，コミュニケーションがとれるのだ。話しかければ，ちゃんと，返事もしてくれる。これは，20年以上も動物と暮らしてきてわかったことだ。

早く，家を建て，ペットとヨメさんと暮らしたいものである。

(J's)

ゆっくり飲みたいよ

家で飲む時にはＢＧＭにクラシックをかけソファーでゆっくりグラスを傾ける…はずだった。２児の父となった私がイザコップにビールを注ぐとそれまで遊んでいたおもちゃをほうり投げて飛んで来て，つまみに小さな手が２つ伸びてくる。競争で食べるのであっという間に半分なくなる。負けじと私もガッツク。プレッシャーを感じて飲むビールは水のようだ。

いつの日か息子と牛タン屋で一杯やるのが待ちどおしい私だ。

(夢追人)



編集後記

子供たちに遊びの世界がなくなってきたと指摘されてから久しい。「３」という数字の話題を取り上げたコーヒーブレイクの続きではないが，遊ぶための「空間・時間・仲間」という三つの間がなくなってきたといわれている。

仕事の中に遊び心を取り入れるのは不謹慎であるが，私たちはこれまで遊ぶことからたくさんの事を学んできたように思う。先日配られた労働組合のパンフに刺激されたわけではないが，もう一度遊ぶことの大切さを思い返して，「ゆとり」についてじっくり考えてみたい。(S)

アメリカの大統領に就任したビル・クリントン。広く人々の意見を聞き，経験の不足を若さでカバー…これは正に私のことだ！と有頂天になっていたら，人の意見を聞き過ぎ優柔不断だ，ヒラリーに頭が上がらないなどの陰口も聞こえてきた。私にはヒラリーこそいないものの，人の意見に左右され身動きが取れなくなることが多い。何かを企画し自分の思い通りにやるためには，相手を説得できるだけのきちっとした理論武装と自信が必要なんだなあ〜ということを痛感しているこのごろです。(G)

最近，新聞紙上は高校や大学の合格発表者の名前で賑わっている。うれしそうな笑顔や笑い声がこちらまで聞こえて来るようだ。

春ってやっぱり気持ちがうきうきしてくる。重いコートを脱いで，軽快なスニーカーをはいて出掛けようという気持ちになる。

間もなく，新入社員を迎えるころになるけれど，ピカピカの彼らに負けないように，いつの間にか何枚も重ね着してしまった古いコートは脱ぎ去って，新しい気持ちで春を迎えたいと思います。(M)

みなさんの声 TO EDITORS お待ちしています

下記のアンケートにお答えください

お寄せいただいたご意見ご要望などを掲載させていただいた場合には，謝礼を差し上げます

●所属

●氏名　　●男・女　　●年齢

■今月号の中で興味のある記事を三つ選んで，番号を○で囲んでください

1. 特集　2. マンスリーＮＥＷＳ　3. ＣＭ制作の現場から　4. 職場たんけん日記
5. ＰＡＬ奮闘記　6. GROUPウォッチング　7. トピックス　8. 掲示板
9. コーヒーブレイク　10. 定年退職者の方のご紹介　11. 気ままにおしゃべり

■今月の特集「広域運営を知ろう」について，ご意見・ご感想をお聞かせください（○をつけてください）

●企画（よい・ふつう・わるい）
●内容（役に立つ・どちらともいえない・役に立たない）
●表現（わかりやすい・ふつう・むずかしい）
●レイアウト，色使い（よい・ふつう・わるい）

＜ご意見・ご感想をお聞かせください＞

■「職場たんけん日記」について（○をつけてください）

●企画（よい・ふつう・わるい）

●内容（興味深い・ふつう・つまらない）

●表現（わかりやすい・ふつう・むずかしい）

●レイアウト，色使い（よい・ふつう・わるい）

＜ご意見・ご感想をお聞かせください＞

■社誌に対するご意見，ご要望をお寄せください

全般的な内容について，今後取り上げてほしいテーマ，おもしろい企画・アイデアなど何でも結構です。

■「気ままにおしゃべり FREE TALKING」に原稿をお寄せください

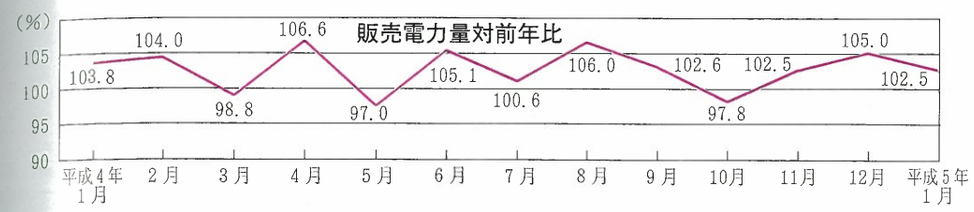
（テーマは設定していませんので，自由にご寄稿ください）

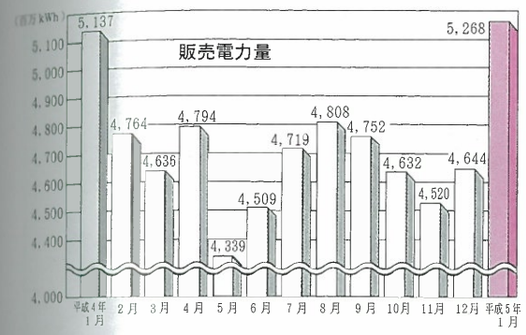
題名（内容に合わせたタイトル）　　ペンネーム

■あてさき　　広報部広報課　社誌担当宛

平成5年1月電力需給実績

販売電力量は全体で2.5%の伸び



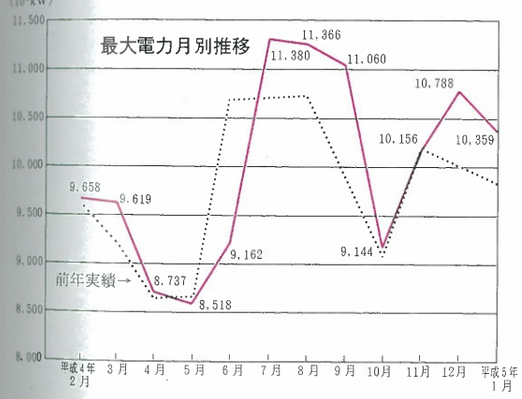


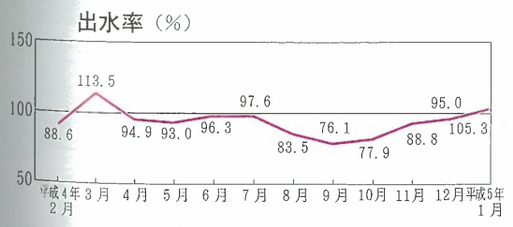
用途別内訳（百万kWh）　（　）内は構成比

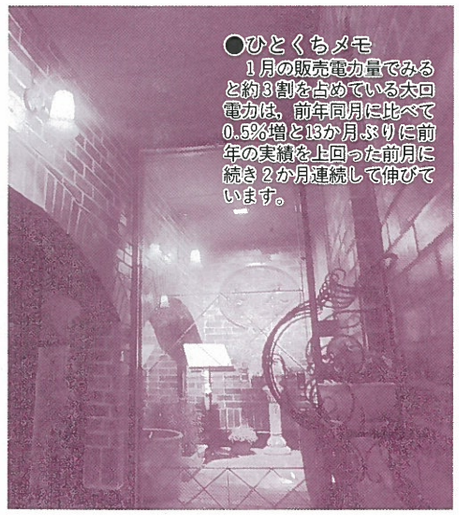
大口	電灯	小口	業務用	その他	合計
1,592 (30.2)	1,824 (34.6)	840 (15.9)	848 (16.1)	164 (3.1)	5,268

エネルギー別発受電電力量（百万kWh）
（　）内は構成比

	水力	火力	原子力	合計
5年1月	840 (15.1)	3,788 (68.1)	932 (16.8)	5,560







冬のまつり

横手営業所は，かまくらと並ぶ横手市の冬の伝統行事，「ぼんでん」に参加。色彩豊かで豪華な頭飾りのぼんでんで祭りを盛り上げた。



青森冬まつりでは，青森支店，青森営業所，青森技術センターの各チームが雪合戦に挑戦した。



六日町雪まつりでは，六日町営業所でふれあいコーナーを出店。チャリティー募金箱を設置しながら，訪れた人に甘酒をふるまった。



上杉雪灯ろうまつりでは，米沢営業所前にも社員有志で雪灯ろうを製作。道行く人たちを楽しませた。

